



# 鹿児島県立大島北高等学校

## P T A 総会

2026



日時 令和8年5月15日(金)

場所 本校体育館

# 目次

資料ページ

1	令和8年度学校経営 .....	1
	「鹿児島県立学校の教職員に関する 業務管理・健康確保措置実施計画」について .....	3～4
2	職員紹介 .....	5
3	学校評価・教職員等への連絡について .....	6～8
4	連 絡	
	(1) 教務部 .....	9～14
	(2) 進路指導部 .....	15～16
	(3) 生徒指導部 .....	17～31
5	協 議	
	(1) 議長選出	
	(2) 令和7年度事業報告 .....	32
	(3) 令和7年度決算報告 .....	33～37
	(4) 令和7年度会計監査報告 ... ..	38
	(5) 新役員(案) .....	39
	(6) PTA会則 .....	40～41
	(7) 令和8年度事業計画(案) .....	42
	(8) 令和8年度諸会費等について .....	43
	令和8年度PTA会計予算(案) .....	44～45
	(9) 校舎配置図 .....	46

## R 8 北高キャッチフレーズ

- 1 生徒一人ひとりが主役
- 2 郷土を愛し、郷土発展のために、志高く挑戦する学校
- 3 保護者・地域から信頼され愛される学校

# 鹿児島県立大島北高等学校

## スクール・ミッション

奄美市にある普通科と情報処理科を有する高校として、心豊かでたくましい心を育て、探究的な学びに主体的に取り組む態度や多様な進路希望や資格取得に対応した学力を身に付けさせ、郷土発展のために、仲間と協働しながら課題解決に真摯に取り組む人材を育成する学校を目指します。

## スクール・ポリシー

### 【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】

- 1 自ら勉学に励み、教科の実力を備え、向上心のある人物の育成
  - (1) 基礎的・基本的な知識・技能
  - (2) 課題発見力・課題解決力
  - (3) 論理的思考・判断力
  - (4) 表現力・発信力
- 2 郷土を愛し、相手に敬意を払い、ともに協働して社会に貢献できる人物の育成
  - (1) コミュニケーション能力
  - (2) 協働・社会参画力
  - (3) 思いやりの心・人権感覚
- 3 積極性や思い切りの良さを備え、粘り強く行動する人物の育成
  - (1) 積極性・主体性
  - (2) やり抜く力
  - (3) 自己管理能力・自己教育力

### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】

- 1 進路実現に対応した基礎力・応用力向上と資格取得支援
- 2 生徒会活動、行事や総合的な探究の時間（アマン day）の活動を通じた自己啓発と郷土愛の醸成
- 3 自己肯定感をもち積極的に進路を切り開く態度の育成
- 4 多様性を受け入れ、協働する態度の育成

### 【アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）】

- 1 郷土に誇りをもち、郷土発展のために、仲間と協議しながら課題解決に向けて真摯に取り組む生徒を募集します。
- 2 失敗を恐れず、何事にも挑戦する生徒を募集します。

## 【教育目標】

日本国憲法及び教育基本法に基づき、生徒一人ひとりを大切に、生涯教育の観点に立ち、国際的視野を持ち、心豊かでたくましく、主体的に生きる人間の育成を目指し、校訓『自主好  
学の精神』『敬愛和協の態度』『積極敢為の気迫』の具現化を図る。

## 【令和8年度北高キャッチフレーズ】

- 1 生徒一人ひとりが主役の学校
- 2 郷土を愛し、郷土発展の為に、志高く挑戦する学校
- 3 保護者・地域から信頼され愛される学校

## 【本年度の努力目標】

### (1) 出口(進路実現)の保証

- ア 3年間を見越した進学指導, 国公立大学等合格複数名
- イ 資格・特技・体験活動を生かした進路指導の実現
- ウ 進学・就職決定率 100%達成

### (2) 入口(募集定員)の確保

- ア ホームページやブログ, インスタグラムを充実させた広報活動
- イ 生徒主体の魅力的な「中学生1日体験入学」
- ウ 大学, 専門学校, 県内外高校との連携
- エ 効果的な高校説明会, 中高連絡会, 中高連携
- オ 小・中学校との連携, 奄美市教委・龍郷町教委との連携

### (3) 生徒の意欲や潜在能力を引き出す教育

- ア 「総合的な探究の時間」の充実と教科横断的授業の実践
  - 3カ年間の体系の見直しと充実, 「聞き書きサークル活動」の統合
  - 奄美市連携「北高みらいコンソーシアム事業」の充実
  - 各種発表会, 地域行事等での学習成果の発信
- イ 地域と連携した授業の展開
  - 「観光ビジネス」の成果発表(3学年)～宇宿貝塚リニューアル事業関連等
- ウ GIGA スクール構想の推進(DXハイスクール事業)
- エ 部活動・ボランティア活動の推進, 地域行事への積極的参加

### (4) 積極的な生徒支援の推進

### (5) 教育相談・特別支援教育の推進

- ア 組織的対応, 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実
- イ インクルーシブ教育の推進
  - 「スキルアップチャレンジ」の充実
  - 特別支援教育支援員の配置

### (6) 学校安全教育の推進

### (7) 服務規律の厳正確保等

- ア 研修の充実
- イ 業務改善の意識向上と推進

### (8) 教育は人なり

- ア 教職に対する情熱
  - 教師自らも, 自己の課題に対して「主体的・対話的で深い学び」の姿勢で臨む教員集団
- イ 「時間は有限, 可能性は無限。果敢に, 楽しんで挑戦する姿勢」

(文部科学省作成広報チラシ)

学校へのご理解・ご協力、いつもありがとうございます

子供たちへのより良い教育のためにさらなる学校へのご協力をお願いします



地域・保護者の皆様へ

1

## 教師を取り巻く環境

### 学校が対応する課題の多様化・複雑化

■ いじめの重大事態の発生件数(小中学校)



■ 不登校児童生徒数(公立小中学校)



### 厳しい勤務実態

■ 平均時間外在校等時間は地方公務員の一般行政職の約3倍 (R4:月約47時間)



臨時講師等が確保できない

### 「教師不足」

採用選考試験の倍率は

### 過去最低

(令和7年に小学校で2.0倍)



教師が子供にもっと向き合えるようにする必要があります！

2

## 文部科学省・教育委員会・学校の取組

■ 働き方改革を進めるための仕組み作り

■ 教職員定数の改善 ■ 支援スタッフの充実

■ 教職調整額の引上げ

更に取組を進めていくためには、これらの取組に加え、地域や保護者の皆様のご協力が不可欠です！

3

## ご協力いただきたいこと

- ✓ コミュニティ・スクールなどを通じ、学校運営に参画いただく
- ✓ 学校行事や業務の見直しへのご理解
- ✓ 学校以外が担うべき業務の役割分担の見直しへのご協力(登下校の見守り、学校ボランティアへの応募など)



※ 教職員とのより良い関係づくりにご配慮ください



適切な表現・声量

怒鳴るなどの行動はお控えください



適切な要求

学校ができないこともあることをご理解ください



SNSでの拡散

先生や子供を傷つけるSNS投稿はお控えください



適切な時間内の御相談

ご相談は定時内に過度に長時間の御相談はお控えください

## 学校における働き方改革へのご理解とご協力をお願い

～「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました～

### 教職員を取り巻く環境

学校における課題の複雑化・多様化

- いじめ・不登校対策
- 支援を必要とする子供への対応
- 多様な学習ニーズに応じた取組
- 教職員の長時間勤務 など



教職員一人一人が心身ともに健康で、その専門性を十分に発揮して質の高い教育活動を担っていただけるような環境整備が必要です。



### 学校における働き方改革に係る計画の策定

令和7年6月給特法等の改正（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条）を受けて、令和8年3月に

**「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました！**

(詳しくは、こちらから→)



#### 【計画の概要】

(令和8年度～11年度の4年間における)

- ・ 教職員の時間外在校等時間等に係る数値目標
- ・ 実施する業務量管理・健康確保措置の内容
- ・ 関連する取組、今後のフォローアップについて



### 働き方改革の取組例 ～ 今後、学校の働き方が変わります！～

- 学校行事や様々な教育活動について、それぞれの教育的価値を踏まえ、各学校で精選・統合を進めます。
- 勤務時間外の電話応対等について、自動音声機能等に対応している学校も増加しています。可能な限り勤務時間内のご連絡をお願いします。
- 全ての県立学校において8月中旬の5日間を学校閉庁日とします。
- その他、国の指針や県の計画で示された「学校又は教師の業務の3分類」を踏まえて、学校の業務を見直していきます。

引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします

## 新任者紹介

職名	教科等	氏名	旧任校等
教頭		わたなべ たかし 渡邊 隆	県総合教育センター 研究主事
教諭	理科	うちだ だいすけ 内田 大介	伊集院高校
教諭	保健体育	うえの まどか 上野 まどか	加世田高校
教諭	外国語	よしだ みわこ 吉田 美和子	新規採用
教諭	家庭	とびまつ ともこ 飛松 智子	育休復職
実習助手	商業	いのうえ りょう 井之上 遼	新規採用
事務主事		あきた はるか 秋田 晴香	川内南中学校
図書補助員		いわした ちよみ 岩下 千代美	会計年度任用職員
特別支援教育支援員		もり りほこ 森 理穂子	会計年度任用職員

## 令和8年度 職員一覧

教科等	氏名	学級等	教科等	氏名	学級等
校長	有川 美智代		家庭	飛松 智子	1A副
教頭	渡邊 隆		商業	楠本 美徳	1C副
事務長	西 広一郎		商業	本田 親啓	2C正
国語	立森 慈雄	1A正	商業	林田 和歌子	3C副
国語	牛ノ濱 裕也	2C副	商業	小宮路 由佳理	1C副
国語	水谷 浩次	3C副	商業	駒走 かおり	3C正
地歴公民	大城 知彦	3A副	理科	政 博之	3年付
地歴公民	満塩 裕志	2A正	商業	井之上 遼	2年付
数学	中島 康二	2A副	養護	池田 光希	1年付
数学	川路 敢太郎	1C副	音楽	城 昭久	
数学	秋元 聖	3A正	書道	渡島 文音	
理科	服部 直樹	2C副	A L T	ヤズ・ミナ・サラフデ・イン・ロビ・ソソ	
理科	内田 大介	1A副	事務	秋田 晴香	
保健体育	高山 裕司	1A副	事務	谷川 日菜	
保健体育	上野 まどか	2A副	用務	豊山 真郎	
英語	柳田 垂矢	1C正	用務	宮口 千鶴	
英語	丸山 亮子	2C副	図書	岩下 千代美	
英語	吉田 美和子	3A副	特別支援教育支援員	森 理穂子	
			部活動指導員	中山 武洋	

## 令和7年度 学校評価実施結果

### 1 実施方法

- (1)形式;アンケート (2)内容;自己及び学校  
 (3)対象;生徒, 保護者, 教職員 (4)時期;7月と12月の2回

### 2 集計結果

		令和7年度2回目				令和7年度1回目					
項目	番号	質問事項	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分	
教育方針	1	生徒	学校は、校訓『自主好学の精神』『敬愛和協の態度』『積極敢為の気迫』を意識した教育活動を行っている。	28%	69%	3%	0%	43%	49%	7%	1%
		保護者	学校は、校訓『自主好学の精神』『敬愛和協の態度』『積極敢為の気迫』を意識した教育活動を行っている。	40%	51%	7%	3%	44%	55%	1%	0%
		教職員	校訓『自主好学の精神』『敬愛和協の態度』『積極敢為の気迫』の具現化を意識した教育活動を行っている。	54%	42%	4%	0%	23%	73%	3%	0%
地域連携	2	生徒	学校は、地域に信頼される学校を目指して、人間力を伸ばす指導を行っている。	48%	45%	6%	2%	57%	38%	4%	2%
		保護者	学校は、地域に信頼される学校を目指して、人間力を伸ばす指導を行っている。	44%	49%	4%	3%	55%	45%	0%	0%
		教職員	地域に信頼される学校を目指して人間力を伸ばす指導を行っている。	75%	25%	0%	0%	57%	43%	0%	0%
教科	3	生徒	学校は、生徒一人ひとりに合った学力到達目標を設定し、自ら学ぶ姿勢を育てる指導を行っている。	47%	48%	5%	0%	54%	40%	6%	1%
		保護者	学校は、生徒一人ひとりに合った学力到達目標を設定し、自ら学ぶ姿勢を育てる指導を行っている。	49%	41%	7%	3%	57%	40%	4%	0%
		教職員	生徒の多様性を踏まえた段階的な学力到達目標を設定し、学習意欲の向上を図るとともに、自ら学ぶ姿勢を育てる指導を心掛けている。	54%	42%	4%	0%	50%	50%	0%	0%
生徒指導	4	生徒	学校は、基本的な生活習慣を確立できるような指導・助言を行っている。	48%	50%	2%	0%	54%	42%	4%	0%
		保護者	学校は、基本的な生活習慣を確立できるような指導・助言を行っている。	41%	45%	12%	1%	44%	53%	3%	0%
		教職員	生徒が基本的な生活習慣を確立できるよう指導・助言に努めている。	71%	29%	0%	0%	53%	43%	3%	0%
	5	生徒	学校はいじめ問題の撲滅に努めている。	50%	40%	8%	2%	57%	38%	4%	2%
		保護者	学校はいじめ問題の撲滅に努めている。	34%	51%	8%	7%	41%	57%	3%	0%
		教職員	いじめ問題の根絶を目指した生徒指導を実践している。	75%	25%	0%	0%	67%	33%	0%	0%
進路指導	6	生徒	学校は、生徒一人ひとりの進路のことを考え、必要な能力・態度を育てる指導を行っている。	58%	40%	2%	0%	57%	40%	2%	0%
		保護者	学校は、生徒一人ひとりの進路のことを考え、必要な能力・態度を育てる指導を行っている。	45%	45%	7%	3%	61%	37%	2%	0%
		教職員	生徒の多様な進路希望の実態を的確に捉え、必要な能力・態度の育成に努めている。	75%	25%	0%	0%	47%	50%	3%	0%
環境整備	7	生徒	学校は生徒が安心・安全に学校生活を送れるような環境の整備に取り組んでいる。	47%	46%	6%	1%	52%	40%	7%	2%
		保護者	学校は生徒が安心・安全に学校生活を送れるような環境の整備に取り組んでいる。	43%	49%	6%	3%	52%	45%	2%	0%
		教職員	生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう環境の整備に取り組んでいる。	38%	63%	0%	0%	50%	50%	0%	0%
	8	保護者	学校は心身の健康に配慮し、健康観察・指導を行っている。	44%	47%	6%	4%	57%	43%	0%	0%
教職員		生徒が心身ともに健康な学校生活を送れるよう日々の健康観察に努め、適切な配慮をしている。	67%	33%	0%	0%	67%	33%	0%	0%	
保護者連携	9	保護者	学校は生徒が充実した学校生活を送れるよう、一人ひとりの個性を尊重し、保護者との連携を大切にしている。	47%	41%	11%	1%	43%	51%	6%	0%
		教職員	生徒が充実した学校生活を送れるよう、一人ひとりの個性を尊重し、保護者との連携を大切にしている。	58%	42%	0%	0%	60%	37%	3%	0%
	10	保護者	学校は学校行事やPTA活動、校内・生徒の様子に関する情報が保護者に伝わるよう適切な配慮をしている。	51%	43%	6%	1%	40%	57%	4%	0%
		教職員	学校行事やPTA活動、校内・生徒の様子に関する情報が保護者に伝わるよう、適切な配慮をしている。	54%	46%	0%	0%	53%	47%	0%	0%

(2) 生徒のみの質問			令和7年度2回目				令和7年度1回目			
項目	番号	質問事項	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分
自己評価	11	私は北高生であることに誇りをもって生活している。	41%	50%	8%	2%	52%	40%	7%	2%
	12	私は自発的に挨拶ができ、服装もしっかりしている。	47%	51%	2%	0%	50%	46%	4%	1%
	13	私は他人の痛みを理解し、人権に配慮した生活を送っている。	52%	45%	3%	0%	55%	41%	4%	1%
	14	私は携帯やスマホ、ゲーム機について利用時間を決めている。	8%	32%	42%	18%	15%	30%	36%	19%
	15	私は生徒会活動や学級活動に積極的に参加している。	27%	43%	27%	4%	34%	42%	22%	2%
	16	私は道路交通法を守って安全に登下校している。	72%	28%	0%	0%	72%	26%	2%	0%
	17	私は3点固定(起きる時間、勉強を始める時間、寝る時間)を心掛けています。	16%	45%	31%	9%	20%	49%	28%	4%
	18	私は校内清掃にしっかりと取り組んでいる。	52%	47%	2%	0%	57%	38%	4%	0%
	19	私は津波や地震などの災害時に、適切な状況判断や行動ができる。	32%	54%	15%	0%	27%	57%	15%	1%
	20	私は自分の進路を決めるための情報収集に努力している。	27%	59%	12%	2%	31%	52%	15%	2%
	21	私は進路について保護者によく相談している。	32%	38%	27%	4%	36%	39%	21%	4%
	22	私は朝読書やコラム、スタディサブリの時間に積極的に取り組んでいる。	32%	58%	7%	3%	35%	58%	7%	0%
	23	私は学校からの配布物を確実に保護者へ渡している。	27%	47%	25%	2%	27%	57%	15%	2%

(3) 教職員のみの質問			令和7年度2回目				令和7年度1回目			
項目	番号	質問事項	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分	十分該当	概ね該当	やや不十分	不十分
教科	24	主体的で深い学びを意識し、思考力・判断力・表現力の育成に効果的な授業を実践している。	54%	42%	4%	0%	40%	57%	3%	0%
	25	学校評価を活用した授業改善に取り組んでいる。	50%	42%	8%	0%	40%	57%	3%	0%
生徒指導	26	積極的な生徒指導を心がけ、心に訴える指導を心がけている。	58%	42%	0%	0%	57%	40%	3%	0%
進路指導	27	キャリア教育の視点に立った進路学習を計画的に進め、目的意識を高め主体的に進路選択できる力を養っている。	71%	29%	0%	0%	50%	47%	3%	0%
校務分掌	28	課題や問題点の工夫・改善に努め、組織的・計画的に業務を遂行している。	46%	50%	4%	0%	47%	53%	0%	0%



【学校安心メール®  
協賛携帯サイト】



【学校安心メール協賛  
事業所ご紹介(動画)】

または、YouTubeで  
「学校安心メール」を検索

「学校安心メール協賛」の詳しい資料請求やお問い合わせはこちらまで

**株式会社 テクノミックス**  **0800-600-1230**  
〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-28  
 テクノリサーチパーク 政府出資法人 熊本ソフトウェア内  
<http://www.tmix.co.jp/>

 [info@tmix.co.jp](mailto:info@tmix.co.jp) 学校安心メール協賛 検索

令和8年5月15日

保護者各位

県立大島北高等学校  
校長 有川 美智代

教職員等への連絡について（お願い）  
～本校教育活動の更なる充実のために～

青葉の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。かねてより、本校の教育活動に御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本県では平成31年（令和元年）に学校における業務改善アクションプランが出され、本校も取り組んできたところです。業務改善を進めることで、教育活動の更なる充実を目指す取組です。

本年もより一層その取組を進めるべく、保護者の皆様に教職員等への連絡について、下記のような御協力をお願いしたいと考えております。何とぞ趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 学校及び教職員への時間外（18:30～翌7:30）の電話は、緊急時を除いて原則御遠慮ください。
- 2 各専門機関も御活用ください。  
例 ・被害に遭った場合→警察  
・お子様に関する事→行政の保健福祉部  
スクールソーシャルワーカー（SSW）等
- 3 その他、何かございましたら、教頭まで御連絡ください。

#### 【連絡先】

鹿児島県立大島北高等学校  
教頭 渡邊  
TEL 0997-63-0005

## 教務部より

### I 教務とは

主に学校行事などの設定，成績・進級・卒業の判定の処理をしていく係です。

### II 学習の成績・評価について

#### I 観点別評価 各教科・科目は，3つの観点をA，B，Cで評価

##### 観点①「知識・技能」

→各教科の学習で身についた具体的な知識と技能（基礎）

##### 観点②「思考力・判断力・表現力」

→①を使って，問題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力（応用）

##### 観点③「主体的に学習に取り組む態度」

→①②を身に付けるために，自分で学習状況を把握し，粘り強く学ぼうとしているかという主体的な態度

**A**：「十分満足できる」と判断されるもの

**B**：「おおむね満足できる・おおむね達成している」と判断されるもの

**C**：「努力が必要」と判断されるもの

#### ●何が評価対象か？●

定期（中間・期末）考査の成績，休日・長期休みの課題への取り組み内容と提出状況，授業時の小テスト，パフォーマンステスト（プレゼン等），実験や実習の状況，レポート作成や発表，その他 教科担任から課されたもの

教科担任は，上記の活動全てにA～C評価をつけます。

例えば，

	観点①	観点②	観点③
4月 春休み課題提出	A	B	
4月 課題考査	B	C	
5月 中間考査	A		B
5月 小テスト	A		
6月 レポート提出	A	B	A
6月 期末考査	B	B	
7月 ノート点検		A	A

この1つ1つの評価の積み重ねが，学期末の評価となります。

### 2 履修の認定 ⇒ 「授業を受けました！」の認定

各科目において，

法定時数の3分の1以上の欠席があった場合に履修が認められない。

履修が認められない科目が1科目でもあると進級，卒業は認められない。

3 修得の認定 ⇒ 「十分な成績を収めました！」の認定

科目を履修した上で、

年間の観点別評価がCCCの評価となると修得が認められない。

修得が認められない科目が一定数あると進級、卒業は認められない。

4 進級・卒業の認定 ⇒ 進級判定会（職員会議）で進級の可否が審議される。

学年末に、

① 学校への出席：出席すべき日数の3分の2以上の出席がある。

② 授業への出席：卒業に必要な科目を履修している。

③ 十分な成績：履修した科目の単位を規定数修得している。

①～③のすべてを満たした場合に進級・卒業が認められる。

進級・卒業が認められないと原級留置（もう一度同じ学年）となる。

また、未修得の科目がある場合、定められた期間内に修得のための追指導が行われる。

5 十分な成績を収めることができなかった生徒への対応

- ・ 1学期、2学期の成績(通知表)においてCが2個以上(例：B C C)の科目がある場合、該当の教科は欠点となり追指導（追加の授業，課題，テストなど）が行われる。
- ・ 欠点が3科目以上ある場合，保護者に来校してもらい面談が行われる。
- ・ 欠席が学期10日以上ある場合，保護者に来校してもらい面談が行われる。
- ・ 該当生徒は，部活等の大会出場やアルバイトは認められない。学業優先！

Ⅲ 教育課程表の見方

教科	科目	学年	1		2		3												
			共通	選択芸術	共通	選択		共通	選択										
						理科	A		B	地理	数学	理科	外国語	C	D	E			
国語	現代の国語	◎2	2																
	言語文化	◎2	2																
	論理国語	4		2			2												2
地理歴史	古典探究	4		2			2												
	地理総合	◎2		2															
	地理探究	3							3										
公民	歴史総合	◎2		2															
	日本史探究	3							3										
	公民共	◎2	2																
数学	倫理	2																	2
	政治・経済	2																	2
	数学I	◎3	4																
	数学II	4		2		2				4									
	数学III	3								4									
	数学A	2		2															
数学B	2																	2	
数学C	2																	2	

単位数は1週間の授業時間数です。  
(例：1年生で現代の国語を週2時間学習する)

単位数は3。  
地理探究と日本史探究のどちらかを選択する。

単位数は2。  
教科をまたぐ科目選択はA選択，B選択などの呼び名で区別している。

教育課程表 [大学科(普通科)] [小学科(普通科)]

教科		入学年度		令和6年度													備考			
		学年		1			2			3								計		
		科目	標準 単位	共通	選択 芸術	共通	選択		共通	選択										
理科	A						B	地歴		数学	理科	外国語	C	D	E					
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎2	2													2	選択科目は同一 括り内の科目か ら1科目選択		
		言語文化	◎2	2															2	
		文学国語	4			2			2					2					4・6	
		古典探究	4			2			2										4	
	地理歴史	地理総合	◎2			2													2	
		地理探究	3							3									0・3	
		歴史総合	◎2			2													2	
		日本史探究	3							3									0・3	
	公民	公民	◎2	2															2	
		倫理	2												2				0・2	
		政治・経済	2												2				0・2	
	数学	数学Ⅰ	◎3	3															3	2年次にA選択 で数学Ⅱを選択 する場合のみ、 3年次に数学選 択で数学Ⅲを選 択
		数学Ⅱ	4			2	2			4									4・6	
		数学Ⅲ	3							4									0・4	
		数学A	2	1	2														3	
		数学B	2												2				0・2	
		数学C	2													2			0・2	
	理科	科学と人間生活	◎2	2															2	2年次に物理基 礎を選択する場 合、3年次に物 理を選択(生物 も同様)
		物理基礎	2			2													0・2	
物理		4								4							0・4			
化学基礎		◎2	2														2			
化学		4				2							2				0・4			
生物基礎		2			2												0・2			
保健体育	体育	◎7~8	2		3				3								8			
	保健	◎2	1		1												2			
芸術	音楽Ⅰ	○2		2													0・2	音楽Ⅱ、書道Ⅱ を選択する場 合、同一科目を 継続して選択		
	音楽Ⅱ	2					2										0・2			
	書道Ⅰ	○2		2													0・2			
	書道Ⅱ	2					2										0・2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	◎3	5														5	2年次にA選択 で論理・表現Ⅰ を選択する場合 のみ、3年次に 英語選択で論 理・表現Ⅱを、 及びE選択で論 理・表現Ⅱを選 択		
	英語コミュニケーションⅡ	4			3			3									6			
	論理・表現Ⅰ	2			1	2					1						2・3			
	論理・表現Ⅱ	2									1			2			0・3			
家庭	家庭総合	◎4	2		2												4			
情報	情報Ⅰ	◎2	2														2			
科目単位数計				26	2	22	2	0・2	2	10	3	4	4	1	0・2	2	0・2	78・80・82・84		
その他 開設される各教科・科目	商業	情報処理	2~4				2									2	0・2・4			
		ソフトウェア活用	2~4										2				0・2			
	家庭	保育基礎	2~6				2											0・2		
		フードデザイン	2~6													2		0・2		
科目単位数計				0	0	0	0	0・2	0	0	0	0	0	0	0・2	0	0・2	0・2・4・6		
総探	アマンダ		◎3~6	1	/	1	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	3			
合計				27	2	23	2	2	2	11	3	4	4	1	2	2	2	87		
特活	ホームルーム活動			1	/	1	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	3			
週当たり総時数				30		30				30							90			

[大学科（普通科）] [小学科（普通科）]

教科		入学年度		令和7年度													備考				
		学年		1			2			3								計			
		科目	標準 単位	共通	選択 芸術	共通	選択		共通	選択											
理科	A						B	地歴		数学	理科	外国語	C	D	E						
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎2	2														2	選択科目は同一 括り内の科目か ら1科目選択		
		言語文化	◎2	2																2	
		文学国語	4				2			2							2				4・6
		古典探究	4				2			2											4
	地理歴史	地理総合	◎2				2														2
		地理探究	3								3										0・3
		歴史総合	◎2				2														2
		日本史探究	3								3										0・3
	公民	公民	◎2	2																	2
		倫理	2															2			0・2
		政治・経済	2															2			0・2
	数学	数学Ⅰ	◎3	3																	3
		数学Ⅱ	4				2		2				4								4・6
		数学Ⅲ	3										4								0・4
		数学A	2	1			2														3
		数学B	2															2			0・2
	理科	数学C	2															2			0・2
		物理基礎	○2						2												0・2
		物理	4											4							0・4
		化学基礎	◎2	2																	2
		化学	4													2					0・4
		生物基礎	○2						2												0・2
	保健体育	生物	4											4							0・4
		地学基礎	◎2	2																	2
	芸術	体育	◎7~8	2			3														8
		保健	◎2	1			1														2
		音楽Ⅰ	○2				2														0・2
音楽Ⅱ		2															2		0・2		
外国語	書道Ⅰ	○2				2													0・2		
	書道Ⅱ	2															2		0・2		
	英語コミュニケーションⅠ	◎3	5																5		
	英語コミュニケーションⅡ	4						3											6		
家庭情報	論理・表現Ⅰ	2				1		2						1					2・3		
	論理・表現Ⅱ	2												1				2	0・3		
科目単位数計	家庭総合	◎4	2			2													4		
	情報Ⅰ	◎2	2																2		
商業	科目単位数計			26	2	22	2	0・2	2	10	3	4	4	1	0・2	2	0・2	78・80・82・84			
	情報処理	情報処理	2~4						2									2	0・2・4		
		ソフトウェア活用	2~4												2				0・2		
	家庭	保育基礎	2~6						2											0・2	
フードデザイン		2~6															2		0・2		
科目単位数計			0	0	0	0	0・2	0	0	0	0	0	0	0	0・2	0	0・2	0・2・4・6			
総探	アマンダ	◎3~6	1	/	1	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3		
合計			27	2	23	2	2	2	11	3	4	4	1	2	2	2			87		
特活	ホームルーム活動		1	/	1	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3		
週当たり総時数			30		30				30										90		

[大学科(普通科)] [小学科(普通科)]

教科		入学年度		令和8年度														備考			
		学年		1		2				3						計					
		科目	標準 単位	共通	選択 芸術	共通	選択			共通	選択										
				数学	理科	A	B	共通	地歴	数学①	数学②	理科	外国語	C	D	E					
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎2	2														2	選択科目は同一括り内の科目から1科目選択		
		言語文化	◎2	2																2	
		文学国語	4			2				2						2					4・6
		古典探究	4			2				2											4
	地理歴史	地理総合	◎2			2															2
		地理探究	3								3										0・3
		歴史総合	◎2			2															2
		日本史探究	3								3										0・3
	公民	公民共	◎2	3																	3
		倫理	2													2					0・2
		政治・経済	2														2				0・2
	数学	数学Ⅰ	◎3	3																	3
		数学Ⅱ	4			2	1	2			1	3									4・5・7
		数学Ⅲ	3									3									0・3
		数学A	2	1	1																2
		数学B	2			1					1										0・2
		数学C	2														2				0・2
	理科	物理基礎	○2				2														0・2
		物理	4										4								0・4
		化学基礎	◎2	2																	2
		化学	4						2						2						0・4
		生物基礎	○2				2														0・2
		生物	4										4								0・4
	保健体育	地学基礎	◎2	2																	2
		体育	◎7~8	2		3					3										8
	芸術	保健	◎2	1	1																2
音楽Ⅰ		○2		2															0・2		
音楽Ⅱ		2						2											0・2		
書道Ⅰ		○2		2															0・2		
外国語	書道Ⅱ	2						2											0・2		
	英語コミュニケーションⅠ	◎3	4																4		
	英語コミュニケーションⅡ	4			3				3										6		
	論理・表現Ⅰ	2			1		2						1						2・3		
家庭情報	論理・表現Ⅱ	2											1			2			0・3		
	家庭総合	◎4	2	2															4		
科目単位数計	情報Ⅰ	◎2	2																2		
				26	2	21	1	2	0・2	2	10	3	1	3	4	1	0・2	2	0・2	78・80・82・84	
商業	情報処理	2~4						2										2	0・2・4		
	ソフトウェア活用	2~4													2				0・2		
家庭	保育基礎	2~6						2											0・2		
	フードデザイン	2~6														2			0・2		
科目単位数計			0	0	0	0	0	0・2	0	0	0	0	0	0	0	0・2	0	0・2	0・2・4・6		
総探	アマンダ	◎3~6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3		
合計			27	2	22	1	2	2	2	11	3	1	3	4	1	2	2	2	87		
特活	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3		
週当たり総時数			30		30					30									90		

[大学科 (商業科)] [小学科 (情報処理科)]

入学年度 学年			令和6年度・7年度・8年度						計	備考	
			1		2		3				
			共通	選択 芸術	共通	共通	選択				
							理科	F			
教科	科目	標準 単位									
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎2	2						2	選択科目は同一括り内の科目から1科目選択
		言語文化	◎2	2						2	
		文学国語	4			2	2		2	4・6	
	地理歴史	地理総合	◎2			3				3	
		歴史総合	◎2				3			3	
	公民	公民	◎2	2						2	
		政治・経済	2						2	0・2	
	数学	数学I	◎3	2		2				4	
		数学A	2				2			2	
	理科	科学と人間生活	◎2			2				2	
		化学基礎	○2					2		0・2	
		生物基礎	○2					2		0・2	
	保健体育	体育	◎7~8	2		3	3			8	
		保健	◎2	1		1				2	
	芸術	音楽I	○2		2					0・2	
		書道I	○2		2					0・2	
外国語	英語コミュニケーションI	◎3	3						3		
	英語コミュニケーションII	4			2	3			5		
家庭	家庭総合	◎4			2	2			4		
情報	情報I	2								(情報処理で代替)	
科目単位数計			14	2	17	15	2	0・2	50・52		
主として専門学科において開設される各教科・科目	商業	ビジネス基礎	◇2~4	4						4	
		課題研究	◇2~4				3			3	
		総合実践	2~4				2			2	
		観光ビジネス	2~4				2			2	
		簿記	2~4	4						4	
		財務会計I	2~4			4				4	
		情報処理	◎2~4	4						4	
		ソフトウェア活用	2~4			4				4	
		プログラミング	2~4				2			2	
	ネットワーク活用	2~4			3				3		
家庭	保育基礎	2~6						2	0・2		
科目単位数計			12	0	11	9	0	0・2	32・34		
総探	アマンダ	◎3~6	1	/	1	1	/	/	3		
合計			27	2	29	25	2	2	87		
特活	ホームルーム活動		1	/	1	1	/	/	3		
週当たり総時数			30		30		30		90		

## 1 進路希望調査結果より (R8年4月実施)

上段：人数、下段：(%)

	四年制大	短大	専門学校等	就職	就職進学	その他・未定	合計
1年	12 (25%)	1 (2%)	7 (14%)	9 (18%)	0 (0%)	20 (41%)	49 (100%)
	20 (41%)						
2年	8 (19%)	3 (7%)	13 (30%)	9 (21%)	0 (0%)	10 (23%)	43 (100%)
	24 (56%)						
3年	11 (22%)	1 (2%)	31 (62%)	7 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	50 (100%)
	43 (86%)						

## 2 高校生の保護者におすすめサイト

## 【ベネッセマナビジョン [適職・適学診断]】

簡単な10の質問から高校生のお子様に向いている、おすすめの職業・学問を診断できます。お子様の性格や適性を答えて、進路選びのヒントにしてください。また、【ベネッセマナビジョン保護者】のサイトで様々な高校生の保護者向けの情報を得たり、記事を読んだりすることができます。



## 【job tag(職業情報提供サイト)】

就職・転職活動やキャリア形成を支援するために、約500種類以上の職業について「仕事の内容」「求められるスキル」「年収などの労働条件」などを「見える化」して無料で提供している厚生労働省が運営するサイトです。[自己診断ツール]があり、様々な検査から適職を探索することができます。お子様とぜひ一緒に利用してください。



## 【スタディサプリ進路保護者版】

大学・短大・専門学校の学校情報、入試スケジュール、学費、奨学金情報などをまとめた高校生の保護者向け支援サイトです。無料のパンフレット請求や、受験生をもつ保護者向けのお役立ち記事、情報誌の配信などが行われています。



## 【日本学生支援機構(JASSO)】

文部科学省が管轄する独立行政法人で、日本の学生支援の核となる機関です。「進学資金シミュレーター」では、年収や家族構成から給付型奨学金や授業料減免の対象になるかを試算できます。



## 【全国大学生活協同組合連合会 [大学入学前・入学後のお金のハナシ集]】

大学入学までの費用、大学生活における食事や生活費、仕送り、奨学金などについて、データとともに実際の保護者や大学生の声などを掲載しています。



### 3 進学にかかる費用について

進学先別の学校納付金の平均額（年間費用）

	1年目	2年目～	合計
国立大学	82万円	54万円	(4年間) 244万円
公立大学	92万円	54万円	(4年間) 254万円
私立大学（文系）	130万円	108万円	(4年間) 454万円
〃（理系）	172万円	147万円	(4年間) 613万円
公立短期大学	56万円	38万円	(2年間) 94万円
私立短期大学	129万円	105万円	(2年間) 234万円
専門学校（情報処理・IT）	123万円	102万円	(2年間) 225万円
〃（ゲーム・CG）	145万円	124万円	(2年間) 269万円
〃（看護）	129万円	107万円	(3年間) 343万円
〃（柔道整復）	160万円	132万円	(3年間) 424万円
〃（理学療法・作業療法）	178万円	143万円	(3年間) 464万円
〃（栄養・調理）	150万円	132万円	(2年間) 282万円
〃（理容・美容）	135万円	123万円	(2年間) 258万円
〃（保育・教育）	117万円	101万円	(2年間) 218万円
〃（簿記・ビジネス・IT）	115万円	99万円	(2年間) 214万円
〃（アニメ・声優）	132万円	113万円	(2年間) 245万円

※ 国立大学は2026年度の標準額、公立大学は文部科学省「2024年度学生給付金調査」（入学料は地域外の平均）、私立大学は同省「令和7年度入学者の初年度納付金の平均額の調査」、専門学校は東京都専修学校各種学校協会「令和6年度学生・生徒納付金調査」より。

※ 国公立大学と公立大学は、上のほかに、諸経費がかかる。

進学費用は、卒業後ではなく「受験時」から必要となります。

#### (1) 納入時期の注意

入試費用や、合格直後の「入学手続き金（入学金など）」は急な出費となる場合が多いです。余裕をもった準備をお願いいたします。

#### (2) 奨学金の活用と期限

奨学金を検討されている方は、以下の点にご留意ください。

- ・ 日本学生支援機構：高校在学中の予約申込は7月が最終期限です。
- ・ 多様な制度：大学独自の奨学金や自治体の制度もあります。「返済の有無（給付か貸与か）」「卒業後の義務」などの条件が大きく異なります。

お子様の可能性を広げるためにも、早めの情報収集とご準備をお願いいたします。

### 4 基礎力診断テスト GTZ（学習到達ゾーン）

表に掲載しているのは、ベネッセの学力指標である「GTZ（学習到達ゾーン）」の一覧です。これは現在の学力レベルを客観的に把握するための一つの目安となります。4/30(木)、5/1(金)に実施した「基礎力診断テスト」の結果から、お子様の現在のGTZを確認いただけます。大切なのは、結果に一喜一憂するのではなく、現在の位置を正しく理解し、目標に向かって地道な努力を積み重ねることです。ぜひご家庭でも結果をご覧になり、お子様の得意分野や今後の課題について共有するきっかけにいただければ幸いです。志望校合格や希望する進路の実現に向け、一歩ずつレベルアップを目指していきましょう。

GTZ	レベル
S1～A1	難関大
A2～B3	進学・就職に対して、十分な力がある。大学入学共通テスト挑戦のレベル (国公立大学一般、公務員試験合格)
C1～C3	高校生全員が目指したい目標 (国公立大学推薦、私立大学、短大・専門学校等合格、就職筆記試験クリア)
D1～D2	高校教科書の例題レベルの内容がやや理解できていない
D3	小・中学校の内容を十分に理解していない、初級の検定合格が厳しい



# 青少年をSNS等利用や薬物乱用の危険から守るために

## の危険から守るために

**Point 1** • SNS等の利用の危険性

**Point 2** • 安全な利用環境づくり

**Point 3** • 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」



©鹿児島県ぐりぶー

保護者の皆様へ  
子どもと一緒に  
確認しましょう!

青少年を対象とした県の相談窓口

### I かごしま子ども・若者総合相談センター TEL:099-257-8230

不登校・ひきこもり・ニート・フリーター・ヤングケアラーなど子ども・若者の悩み等に関すること  
時間:10:00~17:00(月,年末年始を除く) ※保護者からの相談にも対応します。



### II 性暴力被害者サポートネットワークかごしま (FLOWER) TEL:#8891 (はやくワnstopp) TEL:099-239-8787 (はなはな)

性犯罪・性暴力に関すること 時間:24時間  
(夜間(17:00~翌9:00),日曜・祝日,年末年始は国の夜間休日コールセンターが対応)



### III ヤングテレホン(鹿児島県警察) TEL:099-252-7867 (ふこうに なやむな) かごしま教育ホットライン24 TEL:0120-0-78310 (なやみいおう) (鹿児島県教育委員会) 0120-783-574

非行問題・いじめ・犯罪被害等の子どもの悩みに関すること  
【ヤングテレホン】  
時間:8:30~17:15(土,日,祝,年末年始を除く)



【かごしま教育ホットライン24】  
時間:365日 24時間



### IV 消費者ホットライン TEL:188 (局番なし)

消費者トラブルに関すること  
時間:お住いの市町村によって窓口の受付時間等が異なります。(年末年始を除き,原則毎日利用ができます)



### V 薬物・オーバードーズに関する窓口 県薬務課 TEL:099-286-2804 県精神保健福祉センター TEL:099-218-4755

※県薬務課:8:30~17:15(土,日,祝,年末年始を除く)  
※県精神保健福祉センター:9:00~17:00(土,日,祝,年末年始を除く)  
※最寄りの保健所にも相談できます。詳しくは右記QRコード参照



最寄りの保健所



県精神保健福祉センター

### VI その他相談機関一覧



## 郷土(ふるさと)に学び・育む青少年運動

毎月第3土曜日は 青少年育成の日 【地域ぐるみで青少年育成】

毎月第3日曜日は 家庭の日 【家族のふれあいの促進】

毎月19日は 育児の日 【家庭・地域・職場で子育て応援】

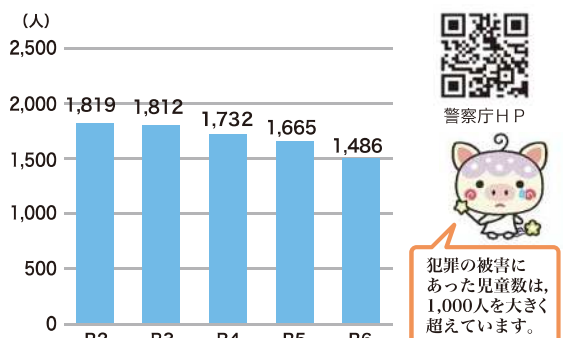
## Point1: SNS等の利用の危険性

## 子どもと一緒に確認!

子どもたちには、SNS等の不適切な利用により、被害者にも加害者にもなる危険性があることを伝えましょう。

- インターネット利用の低年齢化・長時間化が進む中で、SNSに起因する犯罪被害、ネット上の誹謗中傷やいじめなど深刻な問題も生じています。
- SNSで犯罪の被害にあった児童数は、令和6年は、全国で1,486人となっています。

### SNSで犯罪にあった児童数(全国)



(出典:警察庁「令和6年における少年非行及び子供の性被害の状況」)

### 低年齢化・長時間化(全国)

- ・インターネットを利用する際に自分専用のスマートフォンを利用している率 (R1 ⇄ R6)

小学生\*: 40.1% ⇄ 72.0%  
中学生: 81.8% ⇄ 95.3%  
高校生: 98.6% ⇄ 99.1%  
※小学生は10歳以上

- ・平日1日当たりのインターネット平均利用時間 (R1 ⇄ R6)

小学生\*: 129.1分 ⇄ 223.9分  
中学生: 176.1分 ⇄ 302.3分  
高校生: 247.8分 ⇄ 379.4分  
※小学生は10歳以上

(出典:内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」)



## SNS等利用におけるトラブル事例

### ① 「高額バイト」が招く犯罪への加担

SNSの投稿を見ていたら「高額バイト」の情報が。お小遣い稼ぎのつもりで応募したバイトが、詐欺グループの犯罪の手伝いをさせられることに…



- ※ SNS等の人づて情報や個人的な仕事には要注意。社名や団体名等の記載がなければ応募しないようにしましょう。
- ※ 普段使わないアプリの使用を指示・誘導されたときは、必ず思いとどまりましょう。

### ② オンラインカジノは犯罪

「海外では合法だ」・「初回無料で遊べる」と紹介サイトや紹介動画から誘い込み、オンラインカジノサイトにアクセスすると、犯罪という自覚なく利用してしまうことに…



- ※ 「罪にならない」という情報はすべて誤りです。友達を誘ったり、広めたりするのも犯罪になります。
- ※ 紹介サイトやオンラインカジノの動画などへアクセスしないようにしましょう。

### ③ 偽・誤情報の誤信・拡散

SNS上の情報を信じ込み、即座に拡散。拡散した情報がデマだったため、緊急時の迅速・円滑な対応に支障をきたしてしまうことに…



- ※ 個人や社会に重大な危害を及ぼす投稿・拡散等は、権利侵害、SNS利用規約違反になる場合も。
- ※ 真偽の不確かな情報は、安易に拡散せず、公的機関の情報や報道等、出典元を確認しましょう。

## 他にもこんなトラブル事例が…

### ④ 自撮り被害の危険



事例集HP

### ⑤ 誹謗中傷による慰謝料請求

子どもたちを「被害者」・「加害者」にしないためには、保護者の見守りが不可欠です。

- 1 フィルタリング等の設定
- 2 家庭のルール作り

「安全な利用環境づくり」を進めましょう。



## Point2: 「安全な利用環境づくり」

次のページへ

## Point 2 : 安全な利用環境づくり

## 子どもと一緒に確認!

違法・有害情報との接触による犯罪やトラブルから子どもを守るため、フィルタリング等の設定や各家庭でのルールづくりを行いましょう。

ゲーム機やタブレットも対象になるよ。

### 「ペアレンタルコントロール」(『ツール』と『ルール』)を組み合わせよう

子どもの安全のために、フィルタリングなどにより保護者がインターネット利用環境を整えてあげることを「ペアレンタルコントロール」と言います。その代表的なものが「フィルタリング」です。フィルタリングは、年齢や目的に応じた設定が可能で、本体設定やアプリでも細かく設定できます。



### フィルタリングを設定しよう『ツール』

※違法・有害情報との不用意な接触を防ぐためのサービス

- ① 「スマートフォンのフィルタリング機能」を利用する。  
無料で簡単に設定することができます。
- ② 「携帯電話各社のフィルタリングサービス」を利用する。  
携帯電話事業者提供のフィルタリングサービスは年齢等に応じた推奨モードが設けられています。  
モードを選択するだけで、対象年齢に沿ったある程度のインターネット安全利用環境が整います。
- ③ 「フィルタリングアプリ」・「アプリ内の設定」を利用する。  
各種設定や調整ツールによる利用時間設定で、スマホやアプリ等が利用できる時間(長さ)や時間帯を設定することができます。  
その他にも、サービスやアプリによって様々な設定があります。  
目的に合わせて活用しましょう。

### フィルタリングサービスの例

※白欄が使用可能

小学生	中学生	高校生	高校生+
ファミリーゲーム	ファミリーゲーム	ファミリーゲーム	ファミリーゲーム
一般ゲームなど	一般ゲームなど	一般ゲームなど	一般ゲームなど
懸賞など	懸賞など	懸賞など	懸賞など
SNS など	SNS など	SNS など	SNS など
出会いなど	出会いなど	出会いなど	出会いなど

### 調整ツール



スクリーンタイム/ファミリー共有  
(iPhone 等)  
iOS12 以上



デジタル・ウェルビーイング  
Digital Wellbeing/ファミリーリンク  
(Android スマホ等)  
Digital Wellbeing : Android 10 以降  
ファミリーリンク : Android 5.0 以降

Digital Wellbeing,  
ファミリーリンクは、  
Google LL の商標  
です。



フィルタリングを使うことで、子どもが安全にインターネットを利用できて、保護者が安心して見守ることができるよ。

各 SNS (LINE・Instagram・TikTok など) の設定からも、利用時間の制限や視聴履歴を確認できるわよ。



### 家庭のルール作りをしよう『ルール』

どんなルールが適切かは、発達段階、使い方、環境などにより異なります。家族で話し合って、みんなが納得し、尊重できる家庭のルールをつくりましょう。また定期的にルールについて「振り返る」・「見直す」機会を設けましょう。

### 「家庭のルール」のポイント

- ① 家族で話し合って決める  
※ルールの必要性を必ず説明  
※子どもの意見を尊重して決める  
※無理のないルールにする
  - ② ルールに沿って家族全員でやってみる  
※守れなかった時のペナルティも決める
  - ③ 家族がルールを守れているか振り返る  
※定期的に振り返りをする  
※保護者も一緒に守る
  - ④ 家族が守れていなかったら改善する
- ①～④を繰り返す。家族の見守りが大切

家族で決めることが大切!



### 家庭のルールの例

- 【時間の約束】
  - ★午後9時以降は使用しない
  - ★食事中や寝る前は使用しない
- 【コミュニケーションの約束】
  - ★SNSには、他人の悪口など、人の嫌がることを書き込まない
  - ★知らない人のメールに返信しない
- 【個人情報保護の約束】
  - ★個人情報を書き込まない
  - ★自分の写真をアップしない
- 【お金の約束】
  - ★ネット上でお金を払う時は保護者に確認する
  - ★トラブルがあったらすぐに保護者に相談する

参考にしてみてね。



毎月第3日曜日は「家庭の日」・毎月19日は「育児の日」です。  
「家庭のルール」を話題にして、振り返りをしたり、見直しをしたりするいいタイミングです。

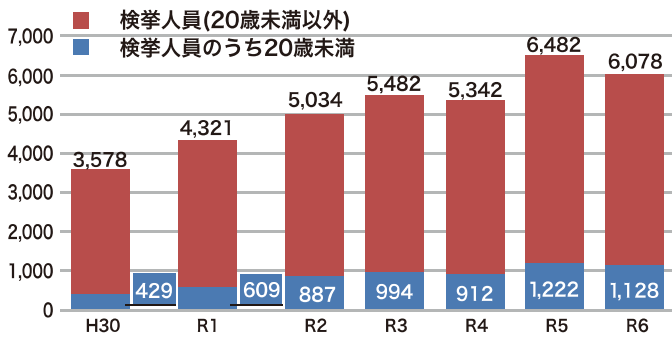
### Point3：薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

### 子どもと一緒に確認!

子どもたちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。「うちの子には関係ない」と油断せず、十分に注意して見守りましょう。

ここ数年、大麻による検挙者が6,000人を超えています。そのうち20歳未満の若者の検挙者は1,000人以上にもものぼり、全体の2割程度となっています。その原因の一つとして、インターネット等に氾濫している「大麻は身体への悪影響がない」などの間違った知識や情報に、若者たちが影響されていることが考えられます。

#### 大麻事犯検挙人員の推移(20歳未満)



(出典：警察庁「令和6年における組織犯罪の情勢」)

#### 大麻を初めて使用した動機(20歳未満)

##### 【動機上位5つ】

- 好奇心・興味本位 39.5%
- その場の雰囲気 21.3%
- ストレス発散 7.8%
- 好きなアーティストや音楽からの影響 6.9%
- 多幸感 6.6%

(出典：警察庁「令和6年における組織犯罪の情勢」)

### SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物の密売買の手段としてSNSが利用され、大麻を意味する隠語や絵文字等を使用して購入を促す内容が多く投稿されています。子どもたちもそうした情報に容易にアクセスすることができ、未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。子どもたちがSNSを利用している場合は、注意して見守ることが大切です。



### 市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)とは

「オーバードーズ」とは薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬やせき止めなどを大量・頻回に服用することです。定められた用法・用量を守らず、短時間に大量の医薬品を服用すると、耐性がついて摂取量が増え依存症になったり、場合によっては急性中毒で救急搬送されるケースもあります。

オーバードーズや薬物乱用について、県では相談窓口を設置しています。一人で抱え込まずにご相談ください。

#### 【薬物・オーバードーズ等に関する相談窓口】

- ・ 県薬務課：099-286-2804
- ・ 表紙 県の相談窓口を参照



県HP



県薬務課公式  
YouTube



### お知らせ 「鹿児島県青少年保護育成条例」が改正されました

#### 【主な改正内容】

- 「青少年」の定義の改正(令和8年7月1日施行)  
これまで6歳未満を条例の対象から除外していましたが、現在は6歳未満であっても犯罪被害や有害環境の影響を受けるおそれがあるため、条例の対象を「18歳未満」に改正しました。
- 携帯電話インターネット接続役務提供事業者等の書面交付義務等の改正(令和8年3月27日施行)  
インターネット上での電子契約利用者の増加等に対応するため、事業者等がインターネットの危険性やフィルタリングの必要性について青少年や保護者に説明する際に義務づけている書面交付について、これまでの紙のみから電磁的記録を含むものに改正しました。

# 不登校支援ガイド

鹿児島県教育委員会

お子様について、こんな困りごとはありませんか？

学校に行きたがらない

子供への接し方が分からない

心配な状態が続いている

お子様の状態に合わせて、適切な支援の方法を一緒に見つけましょう。

## 1 子供の状態と関わり方の例

状態	保護者等の関わり	学びの場
1 登校でき、ほぼ教室で過ごすことができる。	○ 表情、体調などを観察しておく。	学校（教室）
2 登校できるが、遅刻・欠席がしばしばある。	○ 学校と十分に連携し、本人の心身の状態を把握した上で支援する。 ○ 学校（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを含む。）に相談し、お子様の体調、表情、心情等を十分に伝え、よりよい支援ができるよう連携する。	学校 （教室または保健室、図書館、校内教育支援センターなどの別室）
3 登校できるが、ほとんどを教室以外で過ごしている。	○ 別室等を利用することも学校とともに検討する。	
4 学校で過ごすことは難しいが、比較的気軽に外出できる。	○ 学校、市町村教育委員会に相談し、本人の思いを尊重しながら教育支援センターやフリースクール等を利用することを検討する。	教育支援センター フリースクール 自宅 等
5 家庭内では家族とともに過ごし、笑顔を見せられる。外出は難しい。	○ 睡眠や食事など、生活の安定に課題がある場合は、医療（病院・保健所など）や福祉（市町村福祉部局、児童相談所など）の専門機関に相談し、連携する。	
6 部屋に閉じこもり、家族ともほとんど顔を合わせない。		

お子さんや保護者の周りには、学校だけでなく行政や民間の様々な支援の輪が広がっています。一人で悩まずに、まずは学校、市町村教育委員会などに御相談ください。

## 2 学校内の支援体制

学校では、担任、教育相談担当者、養護教諭、管理職等が連携し、チームで支援します。

スクールカウンセラー  
(SC)

心の不安や悩みなどの相談ができます。  
(心の専門家)

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへ気軽に御相談ください。お子様だけでなく、保護者の相談が効果的な支援につながる場合もあります。  
詳しくは、学校にお問い合わせください。

スクールソーシャルワーカー  
(SSW)

生活や環境などの相談ができます。  
(福祉の専門家)

### 3 連携による支援体制

不登校のお子様への支援は、さまざまな機関が相互に連携しながら行います。

#### 教職員、SC、SSW等による支援

##### 学校

別室登校  
校内教育支援センター  
オンライン学習支援  
心のケア  
学校外の学びの場等の紹介 等

#### 学校・市町村以外の支援

##### 民間施設等(フリースクール等)

学習支援  
体験活動  
居場所  
心のケア 等

#### 教育委員会・SSW等による支援

##### 市町村教育委員会

学校外の学びの場・  
専門機関等の紹介

##### 市町村教育支援センター

学習支援・活動  
居場所・心のケア 等

#### 福祉・医療面からの支援

##### 市町村福祉部局等

生活環境改善の支援  
発達課題への支援 等

##### 病院等

相談・医療的ケア 等

### 4 多様な学びの場と一般的な支援の内容

※ 市町村や施設によって異なります。

学校の別室 (校内教育支援センター含む)	市町村教育支援センター	民間施設等 (フリースクール等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室で過ごすことが難しい場合は、保健室や空き教室などの別室で学習できます。</li> <li>○ 基本的には個別学習ですが、教室等とつないでオンライン学習をする場合もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町村教育委員会が設置しています。</li> <li>○ 一人一人に合わせた個別指導や相談等を行います。</li> <li>○ ほとんどの場合、無料です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や教育支援センター以外の、日中の時間帯に学習したり活動したりする場所です。</li> <li>○ 一定の条件を満たせば、在籍校での出席認定や成績評価の対象になります。</li> </ul>

お子様の状態により、どの機関や施設等でどのような支援をすることができるか、保護者、学校、市町村教育委員会、民間施設等で連携しながら検討することが大切です。

学校以外の社会の様々な人々や同年齢集団との交流ができる居場所や学びの場が、お子様への支援に効果的な場合もあります。

## 5 不登校支援の必要性

子供たちを取り巻く環境が大きく変化していることを受けて、文部科学省は、生徒指導の基本的な考え方や取組の方向性を再整理するとともに、今日的な課題に対応していくため、令和4年に「生徒指導提要」を12年ぶりに改訂しました。不登校の課題についての主な留意点は次のとおりです。

### 「生徒指導提要」における不登校の留意点

- 学校だからこそできることもあるが、「学校に登校する」という結果のみを目標にしない。
- 児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立する方向を目指すように働きかける。
- 児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つこともある。
- 一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益、社会的自立へのリスクが存在することにも留意する。
- 学校では、発達支持的生徒指導として「魅力ある学校づくり」を進める。
- 課題予防的・課題対応的生徒指導として、「社会に開かれたチーム学校」による個々の児童生徒に応じた具体的な支援を展開する。



生徒指導提要



このような考えの基になっている法律や基本方針があります。

「教育機会確保法」  
とも呼ばれています。

### 「義務教育段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」

(平成28年12月14日公布)

#### 教育機会確保法の基本理念

- ① 全児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、学校における環境の確保
- ② 不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の状況に応じた必要な支援
- ③ 不登校児童生徒が安心して教育を受けられるよう、学校における環境の整備
- ④ 義務教育の段階の普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を尊重しつつ、年齢または国籍等にかかわらず、能力に応じた教育機会を確保するとともに、自立的に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、教育水準を維持向上
- ⑤ 国、地方公共団体、民間団体等の密接な連携



教育機会確保法

### 「義務教育段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本方針」

(平成29年3月31日文部科学大臣決定)

#### ～基本方針の基本的な考え方～

<うち、不登校児童生徒に対する教育機会の確保等>

- ① 魅力あるよりよい学校づくりを目指すこと
- ② 不登校児童生徒の社会的自立を目指すこと
- ③ 就学に課題を抱える外国人の子供に対する配慮が必要
- ④ 不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること
- ⑤ 不登校児童生徒の意思を十分に尊重しつつ、個々の児童生徒の状況に応じた支援を行うこと

学校だけでなく、社会全体で  
支援することが大切です。



教育機会確保の基本方針

## 6 不登校に関する相談窓口

お困りごとや相談したいことがある場合は、  
こちらに御連絡ください。  
各相談機関を通じて、医療・福祉等の関係機関  
につながることもできます。

### 県の関係相談機関

機関名・所在地	相談内容	相談方法等
<a href="#">県総合教育センター 教育相談課</a> 鹿児島市宮之浦町862	いじめや不登校、性格行動、しつけ、親子関係など子供に係る相談全般	○ 電話相談 24時間子供SOSダイヤル ☎ 0120-0-78310(フリーダイヤル) * 携帯電話もつながります。 かごしま教育ホットライン24(24時間対応) ☎ 0120-783-574(フリーダイヤル) * 携帯電話はつながりません。 ○ 来所相談:月～金曜日の午前8時30分～午後5時 ※ 事前に要予約(☎ 099-294-2788), 祝日・年末年始を除く。
<a href="#">県中央児童相談所</a> 鹿児島市桜ヶ丘6丁目 12番	養護, 非行, 不登校, しつけ, 里親等に関する事など満18歳になるまでの子どもについてのあらゆる相談	○ 電話・来所相談: ☎ 099-264-3003 (来所相談は事前に要予約) 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※ 祝日・年末年始を除く。 ○ 子ども・家庭110番: ☎ 099-275-4152 (つなごうよいこに) 月～金曜日 午前9時～午後10時 ※ 祝日・年末年始を除く。 ○ 巡回相談:離島や遠隔地を定期的に巡回
<a href="#">県北部児童相談所</a> 薩摩郡さつま町虎居 704-2	養護, 非行, 不登校, しつけ, 里親等に関する事など満18歳になるまでの子どもについてのあらゆる相談	○ 電話・来所相談: ☎ 0996-21-3150 (来所相談は事前に要予約) 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※ 祝日・年末年始を除く。
<a href="#">県大隅児童相談所</a> 鹿屋市打馬2-16-6	養護, 非行, 不登校, しつけ, 里親等に関する事など満18歳になるまでの子どもについてのあらゆる相談	○ 電話・来所相談: ☎ 0994-43-7011 (来所相談は事前に要予約) 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※ 祝日・年末年始を除く。
<a href="#">県大島児童相談所</a> 奄美市名瀬小俣町20-2	養護, 非行, 不登校, しつけ, 里親等に関する事など満18歳になるまでの子どもについてのあらゆる相談	○ 電話・来所相談: ☎ 0997-53-6070 (来所相談は事前に要予約) 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※ 祝日・年末年始を除く。

機関名・所在地	相談内容	相談方法等
<a href="#">県こども総合療育センター</a> 鹿児島市桜ヶ丘6丁目12番	こどもの心身の発達に関する相談、発達障害(疑い含む)等のあるこどもの受診に関する相談(中学卒業までのこどもが対象)	○ 電話相談及び来所相談(来所相談は事前に要予約) 受付日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時 専用ダイヤル: ☎099-265-2400 ※ 診療(初診)は、学校や支援機関からの紹介票の提出が必要です。 ※ 祝日・年末年始を除く。
(併設) <a href="#">県発達障害者支援センター</a>	発達障害児(者)についてのライフステージに応じた相談	○ 電話相談及び来所相談(来所相談は事前に要予約) 受付日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時 専用ダイヤル: ☎099-264-3720 ※ 祝日・年末年始を除く。
<a href="#">県精神保健福祉センター</a> 鹿児島市小野1丁目1番1号	精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談	○ 医師による相談(来所相談のみ) 一般相談:(新規)木曜日 午前9時～11時(要予約) (再診)月曜日 午前9時～11時(要予約) 思春期相談:原則第3水曜日 午前9時～11時(要予約) 依存症専門相談:年10回(相談日時は要問合せ) 薬物関連問題相談:原則第3金曜日 午後2時～4時(要予約) ○ 相談員による相談 来所相談:月～金曜日 午前9時～午後5時(要予約) 電話相談:月～金曜日 午前9時～午後5時 ※ 相談・予約は ☎099-218-4755にお電話ください。
<a href="#">県警察少年サポートセンター</a> <a href="#">鹿児島中央駅分室</a> 鹿児島市中央町37番地1(地下)	少年の非行防止、健全育成に関する問題などの相談	○ 電話・来所相談: ☎099-252-7867 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※ 年末年始・祝日を除く。 ○ ヤングテレホン: ☎099-252-7867 ○ ヤングメール: <a href="mailto:kp-youngmail@police.pref.kagoshima.jp">kp-youngmail@police.pref.kagoshima.jp</a>
<a href="#">かごしま子ども・若者総合相談センター</a> <a href="#">(ひきこもり地域支援センター)</a> 鹿児島市鴨池新町1番8号	不登校、ひきこもり、ニート、フリーター、ヤングケアラーなど、子ども・若者に関する相談	○ 相談日時:火～日曜日 午前10時～午後5時 ※ 月曜日・年末年始(12/28～1/4)を除く。 電話相談: ☎099-257-8230 来所相談:事前の予約が必要 メール相談: <a href="https://www.soudancer-center-k.com/">https://www.soudancer-center-k.com/</a> (メール相談専用フォームからの相談)

## かごしま教育ホットライン24

ひとりで悩まないですぐ相談してね。

24時間いつでもあなたの相談を待っています。

○ スマートフォンからアクセスしている場合は、電話番号をタップすると、すぐにつながります。

**かごしま教育ホットライン24**

※ 子供・保護者等を対象に、24時間対応します。

固定電話・携帯電話・スマートフォン

全国統一フリーダイヤル(24時間子供SOSダイヤル)  
(通話料無料)

**0120-0-78310**

固定電話のみ

固定電話専用フリーダイヤル  
(通話料無料)

**0120-783-574**

## かごしま子供SNS相談・通報窓口

悩みを相談したい 学校に知らせたい

**LINE**

LINEを使っている人はこちらの二次元コードを読み取って「かごしま子供SNS相談・通報窓口」を友達登録してね。

**WEB**

LINEを使っていない人やパソコンを使っている人は、こちらの二次元コードからWEBチャットページにアクセスしてね。

## 7 不登校児童生徒の学びの場・居場所

学校外の学びの場を検討される場合は、お子様が在籍している学校を設置している市町村教育委員会に御連絡ください。

### 市町村教育支援センター等

番号	市町村	施設名	電話番号	所在地	設置主体
1	鹿児島市	フレンドシップ鴨池	099-250-7505	鹿児島市鴨池2丁目32-30 勤労青少年ホーム内	鹿児島市教育委員会 ☎099-227-1971
2		フレンドシップ城西	099-254-9148	鹿児島市城西2丁目3-12 城西中学校内	
3		フレンドシップ谷山	099-268-3165	鹿児島市谷山中央8丁目20-5 谷山中学校内	
4		フレンドシップ長田	099-226-3868	鹿児島市小川町3-10 長田中学校内	
5		フレンドシップ南	099-251-6090	鹿児島市東郡元町13-34 南中学校内	
6	日置市	日置市ふれあい教室	099-272-2400	日置市伊集院町下谷口 1782-1	日置市教育委員会 ☎099-248-9431
7		日置市ふれあい教室 東市来分室	090-4606-3775	日置市東市来町長里185 東市来図書館内	
8		日置市ふれあい教室 永吉分室	070-4810-1169	日置市吹上町永吉5947 永吉地区公民館内	
9	いちき串木野市	いちき串木野市 教育支援センター	0996-21-5127	いちき串木野市湊町1-102 市来地域公民館内	いちき串木野市教育委員会 ☎0996-36-3111
10	枕崎市	枕崎市教育支援センター 「みなと」	0993-73-1200	枕崎市住吉町131 枕崎市立図書館3階	枕崎市教育委員会 ☎0993-72-0170
11	指宿市	なのはな教室	0993-22-2111	指宿市十町2424 指宿市役所指宿庁舎北別館2階	指宿市教育委員会 ☎0993-22-2111
12		ツマベニ教室	0993-26-4017	指宿市山川大山1150-1 山川多目的研修館内	
13	南さつま市	レインボー教室	0993-53-2111	南さつま市加世田川畑2650-1 南さつま市民センター1階	南さつま市教育委員会 ☎0993-53-2111
14	南九州市	ふれあい教室スマイル 知覧教室	080-8513-5741	南九州市知覧町郡17880 知覧文化会館内	南九州市教育委員会 ☎0993-56-1111
15		ふれあい教室スマイル 顛娃教室	080-8513-5723	南九州市顛娃町郡1442-1 顛娃中学校内	
16		ふれあい教室スマイル 川辺教室	080-8513-5746	南九州市川辺町田部田3880 川辺中学校内	
17	阿久根市	あくねす	0996-73-1258	阿久根市鶴見町166番地 阿久根市中央公民館鶴見分館内	阿久根市教育委員会 ☎0996-73-1258
18		たんぼぼルーム	0996-72-0025	阿久根市栄町94番地 阿久根小学校内	
19		きらめきテラス	0996-72-0123	阿久根市波留5529番地 阿久根中学校内	
20	出水市	出水市教育支援センター 「ほっとハウス」	0996-62-2683	出水市武本3189-1 出水市役所庁舎分室内	出水市教育委員会 ☎0996-63-4079
21	薩摩川内市	スマイルルーム	070-4700-6116	薩摩川内市御陵下町12番14号 (可愛地区コミュニティセンター)	薩摩川内市教育委員会 ☎0996-22-8115
22		スマイル教室川内北	080-9704-8901	薩摩川内市花木町17-60 川内北中学校内	
23		スマイル教室川内中央	080-7255-2791	薩摩川内市平佐町5000 川内中央中学校内	
24		スマイル教室川内南	080-7972-5685	薩摩川内市平佐町985 川内南中学校内	
25	さつま町	教育支援センター さつまる〜ム	0996-26-1838	薩摩郡さつま町宮之城屋地887 屋地楽習館内	さつま町教育委員会 ☎0996-53-1111
26	霧島市	国分教育支援センター	0995-47-7408	霧島市国分中央1丁目25-26	霧島市教育委員会 ☎0995-45-5111
27		隼人教育支援センター	0995-43-5336	霧島市隼人町内山田1丁目 6-68	

番号	市町村	施設名	電話番号	所在地	設置主体
28	伊佐市	伊佐市教育支援センター 「ふれあい教室」	070-4093-1682	伊佐市大口元町5番地5 伊佐市元町青少年会館	伊佐市教育委員会 ☎0995-26-1532
29	始良市	始良ふれあい教室	080-3974-5547	始良市西餅田589 始良市始良公民館内	始良市教育委員会 ☎0995-66-3111
30		加治木ふれあい教室	0995-62-4055	始良市加治木町本町253 始良市加治木保健センター内	
31	湧水町	適応指導教室 栗野教室	0995-74-4313	始良郡湧水町米永433-1	湧水町教育委員会 ☎0995-75-2142
32		適応指導教室 吉松教室	0995-75-2526	始良郡湧水町川西843	
33	鹿屋市	鹿屋市教育支援センター 「マイフレンドルーム」	0994-31-1370	鹿屋市北田町11107 鹿屋市立図書館内	鹿屋市教育委員会 ☎0994-31-1137
34	垂水市	ほっとルーム	0994-32-0078	垂水市南松原町 60 番地 垂水中央中学校内	垂水市教育委員会 ☎0994-32-7213
35		サテライト牛根教室	0994-36-2001	垂水市二川 553-1 牛根地区公民館内	
36		サテライト水之上教室	0994-32-1597	垂水市本城 1360 水之上校区公民館内	
37		サテライト新城教室	0994-35-2916	垂水市新城 3451 南地区老人憩の家内	
38	曾於市	ふれあい教室	0986-76-5588	曾於市末吉町二之方2019 曾於市立図書館2階	曾於市教育委員会 ☎0986-76-8872
39		ふれあい教室財部分室		曾於市財部町南俣529番地1	
40		ふれあい教室大隅分室		曾於市大隅町中之内9146 大隅町旧図書館自習室	
41	志布志市	学びの多様化教室松風	099-474-1404	志布志市有明町野井倉1756-11	志布志市教育委員会 ☎099-472-1111
42	大崎町	大崎町多様な学びの場 なないろキャンパス	099-476-1111	曾於郡大崎町假宿1058番地2	大崎町教育委員会 ☎099-476-1111
43	肝付町	不登校児童生徒支援室 「きらっと」	0994-37-5639 (みんなの家ふらっと)	肝属郡肝付町前田3697 肝付町勤労青少年ホーム内	肝付町教育委員会 ☎0994-65-8425
44	西之表市	西之表市 教育支援センター	0997-22-1111	西之表市西之表15182-1 西之表市勤労青少年ホーム内	西之表市教育委員会 ☎0997-22-1111
45	中種子町	中種子町教育支援センター 「フレンドコネクト」	0997-27-1733	熊毛郡中種子町野間6584番地2 中種子町福祉センター内	中種子町教育委員会 ☎0997-27-1111
46	屋久島町	屋久島町 北部教育支援センター	0997-47-1393	熊毛郡屋久島町宮之浦 2445番地29	屋久島町教育委員会 ☎0997-43-5900
47		屋久島町 南部教育支援センター	0997-46-2266	熊毛郡屋久島町安房 410番地70	
48	奄美市	ふれあい教室	0997-52-1128	奄美市名瀬幸町25-8 奄美市教育委員会内	奄美市教育委員会 ☎0997-52-1128
49	瀬戸内町	ふれあい教室	0997-72-0995	大島郡瀬戸内町古仁屋842-8 古仁屋中学校内	瀬戸内町教育委員会 ☎0997-72-0113
50		さくらアネックス	0997-76-3321	大島郡瀬戸内町古仁屋松江 5-10 2F さくら塾内	
51	龍郷町	龍郷町 教育支援センター	0997-69-4532	大島郡龍郷町瀬留968-1	龍郷町教育委員会 ☎0997-69-4532
52	喜界町	喜界町 教育支援センター	0997-65-0229	大島郡喜界町赤連樋口之前18番地の2 喜界町中央公民館内	喜界町教育委員会 ☎0997-65-3681
53	天城町	天城町 教育支援センター	0997-85-5112	大島郡天城町天城430番地 天城町立図書館内	天城町教育委員会 ☎0997-85-5226
54	伊仙町	結いスクール	0997-86-4651	大島郡伊仙町伊仙1842番地 伊仙町中央公民館内	伊仙町教育委員会 ☎0997-86-4651
55	与論町	子ども第三の居場所 よろんPOMセンター	0997-97-2792 (こども未来課)	大島郡与論町茶花2030	与論町教育委員会 ☎0997-97-2441

## 県内のフリースクール等

※ 県内全てのフリースクール等を網羅しているわけではありません。

番号	所在地	施設名	電話番号	メールアドレス
1	鹿児島市	<a href="#">NPO法人しののめフリースクール</a> 	099-251-2763	<a href="mailto:shinonomeschool@gmail.com">shinonomeschool@gmail.com</a>
2	鹿児島市	<a href="#">NPO法人どんぐり自然学校</a> 	099-244-5759	<a href="mailto:dongurisizen.steiner@yahoo.co.jp">dongurisizen.steiner@yahoo.co.jp</a>
3	鹿児島市	<a href="#">桜心学院</a> 	099-813-7515	<a href="mailto:info@ohshin-gakuin.com">info@ohshin-gakuin.com</a>
4	鹿児島市	<a href="#">グッジョブスクール</a> 	099-800-5012	<a href="mailto:school@goodjob.group">school@goodjob.group</a>
5	鹿児島市	<a href="#">敬進フリースクール</a> 	099-802-3759 (武岡) 099-248-9303 (石谷)	<a href="mailto:keishinjuku@outlook.jp">keishinjuku@outlook.jp</a>
6	鹿児島市	<a href="#">やさしいハリネズミの楽校</a> 	メール・LINEにて受付 詳細はHPをご覧ください。	<a href="mailto:hsp.harinezumi@gmail.com">hsp.harinezumi@gmail.com</a>
7	鹿児島市	<a href="#">かごしま中央高等学院/eスポーツ高等学院</a> 	099-204-7807	<a href="mailto:info@kagoshima-chuos.com">info@kagoshima-chuos.com</a>
8	鹿児島市	<a href="#">トライ式高等学院</a> <a href="#">トライ式中等部</a>  	0120-919-439	<a href="mailto:try-gakuin-front@trygroup.com">try-gakuin-front@trygroup.com</a>

番号	所在地	施設名	電話番号	メールアドレス
9	鹿児島市	<a href="#">フリースペース大谷</a> 	099-223-6615	<a href="mailto:freespace.ootani@gmail.com">freespace.ootani@gmail.com</a>
10	日置市	<a href="#">学びの杜学園フリースクール</a> 	099-272-5525	<a href="mailto:info@manabi-mas.co.jp">info@manabi-mas.co.jp</a>
11	枕崎市	<a href="#">NPO法人 子育てふれあいグループ自然花</a> 	0993-58-1888	<a href="mailto:jinenka@jinenka.jp">jinenka@jinenka.jp</a>
12	指宿市	<a href="#">あそびばここから</a> 	090-8288-7426	<a href="mailto:cocokara.enjoylife@gmail.com">cocokara.enjoylife@gmail.com</a>
13	南九州市 ※オンライン 教室	<a href="#">ビーンズポケット初等中等部</a> 	090-6712-3416	<a href="mailto:shin1r@beanspocket.com">shin1r@beanspocket.com</a>
14	霧島市	<a href="#">里山の自然楽交 おひさまのおと</a> 	080-1792-3632	<a href="mailto:ohisamano.oto@gmail.com">ohisamano.oto@gmail.com</a>
15	始良市	<a href="#">そらひフリースクール</a> 	0995-40-2416	<a href="mailto:sorahischool@gmail.com">sorahischool@gmail.com</a>
16	始良市	<a href="#">楠学園小中学部</a> 	0995-52-0385	<a href="mailto:primary@naturalstance.jp">primary@naturalstance.jp</a>

番号	所在地	施設名	電話番号	メールアドレス
17	鹿屋市	<a href="#">みんなの家 ふらっと</a> 	0994-37-5639	<a href="mailto:minnanoie.flat@gmail.com">minnanoie.flat@gmail.com</a>
18	鹿屋市	<a href="#">スタディルーム</a> 	080-7030-2180	<a href="mailto:studyroom.kanoya@gmail.com">studyroom.kanoya@gmail.com</a>
19	錦江町	<a href="#">みんなの居場所よろっで</a> 	0994-27-4548 (火・木:0994-37-5639)	<a href="mailto:minnanoie.flat@gmail.com">minnanoie.flat@gmail.com</a>
20	奄美市	<a href="#">NPO 法人フリースクール MINE</a> 	090-5287-6115	<a href="mailto:freeschoolmine262@gmail.com">freeschoolmine262@gmail.com</a>
21	徳之島町	<a href="#">子どもの居場所コランネ</a> 	0997-84-3388	<a href="mailto:colanne2020@gmail.com">colanne2020@gmail.com</a>
22	和泊町	<a href="#">NPO法人心音 子どもの居場所ダ・ヴィンチ</a> 	0997-92-3800	<a href="mailto:yumeko2542@ybb.ne.jp">yumeko2542@ybb.ne.jp</a>

掲載に当たっては、以下の条件にあてはまるフリースクール等を掲載しています。

- ① 令和8年1月現在、県内の小中学生が利用しており、かつ、児童生徒の状況や学習・活動の内容について学校及び各教育委員会との十分な連携や実績等が確認されている民間施設
- ② これまで県教育委員会と連携し、その実績等が確認されている民間施設

掲載されている施設以外にも、様々な様態の施設があります。  
詳しくは、お住まいの市町村教育委員会にお問い合わせください。

<本紙に関するお問い合わせ先>  
鹿児島県教育委員会 高校教育課  
☎ 099-286-5532  
E-mail seitosidou@pref.kagoshima.lg.jp

R 8. 3月現在

## 生徒の大会参加について

派遣規定より

◇ 本校では、生徒の大会参加について次の規定があります。

- 1 登録制を原則とし、4月末日までに生徒会へ登録する。期日までに登録していない生徒は最初の県大会に出場できない。但し、登録は遅れたが真面目に活動している生徒の派遣については考慮する。
- 2 派遣については、団体チームを原則とし、個人戦のみの出場についても審議する。
- 3 平常の生活態度が正しく、派遣先での行動に信頼がもてること。
- 4 派遣するものについては、学習・生活態度・健康・服装等に難点のないこと。また、次に該当する生徒については出場を停止する。
  - (1) 特別指導中の生徒。
  - (2) 直近の学期末の観点別評価において、成績不振の科目が3科目以上ある生徒。しかし、教科担任の指導により、学習への取り組みの改善が見られた生徒は、別途審議する。
  - (3) 健康上の理由で競技会への参加が心配される生徒。
  - (4) 学校及び部の名誉を、著しく傷つけた生徒及びチーム。
  - (5) 校則違反等が多く、学習態度にも問題のある生徒。
  - (6) 諸会費が納入されていない生徒。但し、状況に応じて別途審議する。  
(県大会以上の大会に出場する際確認します。)
- 5 派遣する部活動は、平日の活動が常であるものとする。活動状況は次の項目から判断する。
  - (1) 計画的・継続的に練習に取り組んでいること。
  - (2) 派遣費が生じる大会については、前大会が終了してからの活動日数が、活動可能な平日の8割程度あること。
- 6 派遣の日程は下記のとおりとする。
  - (1) 選手の出発は試合日の前々日の放課後を原則とする。
  - (2) 帰校については、鹿児島新港に16:30までに到着できる場合、直ちに乗船して帰校する。  
帰校後は5校時から授業を受けるものとする。

## 令和7年度 P T A事業報告

	日 付	P T A 関 係 事 業 ・ 行 事
一 学 期	4月3日(木)	第1回運営委員会
	8日(火)	第57回入学式
	9日(水)	会計監査
	23日(水)	P T A評議員会
二 学 期	5月16日(金)	第1回奄美市P T A連絡協議会理事会(奄美市庁)(委任状)
	16日(金)	P T A総会・地区P T A・学級及び学年P T A
	31日(土)	奄美群島P T A連絡協議会総会・研修会(喜界町)(1名参加)
	6月14日(土)	奄美市P T A連絡協議会総会・研修会・懇親会(AiAiひろば)(2名参加)
	26日(木)	大島地域青少年育成推進協議会
	27日(金)	奄美大島5高P T A研修会(18名参加)
	8月23日(土)	体育祭前P T A親子奉仕作業(159名参加)
三 学 期	9月13日(土)	第57回体育祭
	10月8日(水)	2学年P T A
	25日(土)	第57回北高祭
	11月7日(金)	第43回笠利一周遠行
	8日(土)	第37回大島地区高等学校P T A研修会(4名参加)
	27日(木)	1学年P T A
	12月5日(金)	奄美市P T A連絡協議会 第3回 理事会(1名参加)
	20日(土)	奄美市まなびフェスタ及び第1回市P T A連絡協議会研修会(6名参加)
三 学 期	1月8日(木)	第2回P T A評議員会(13名参加)
	17日(土)	第2回奄美市P T A連絡協議会理事会・研修会(1名参加)
	2月28日(金)	第56回卒業式 P T A新聞(「てーち木」)発行
	備 考	77周年記念ポロシャツ販売[8月28日(木)~9月1日(月)]

## 令和7年度 大島北高校PTA会計決算書

収入の部

(単位:円)

費 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増 減 (C)=(B)-(A)	備 考
繰越金	430,280	430,280	0	
会 費	688,800	683,550	▲ 5,250	月350円×1605件(PTA) 月350円×348件(職員)
雑収入	250	190,049	189,799	預金利子、77周年ポロシャツ収益金 PTA連合会総合保障事務委託費
合 計	1,119,330	1,303,879	184,549	

### 2 支出の部

費 目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増 減 (C)=(B)-(A)	備 考	
運 営 費	会 議 費	10,000	9,620	▲ 380	会議用お茶
	旅 費	100,000	45,580	▲ 54,420	奄美市PTA連絡協議会総会等旅費
	需 用 費	140,000	106,709	▲ 33,291	PTA新聞印刷代、奉仕作業経費 PTA新聞購読料 他
	通 信 費	10,000	0	▲ 10,000	
	負 担 金	90,000	118,160	28,160	市PTA連絡協議会会費、地区PTA研修会負担金 PTA教育安全振興会共済加入金 他
	慶 弔 費	30,000	0	▲ 30,000	
	小 計	380,000	280,069	▲ 99,931	
校 務 補 助 費	行 事 費	90,000	117,944	27,944	入学式・卒業式経費、体育祭・文化祭経費
	生活指導費	20,000	7,260	▲ 12,740	生徒証明カード関係
	需 用 費	40,000	35,360	▲ 4,640	正月用門松他
	負 担 金	220,000	226,413	6,413	各種研究会等負担金
	雑 費	30,000	30,677	677	学校関係者評議員会旅費旅費 他
	小 計	400,000	417,654	17,654	
予 備 費	339,330	180,920	▲ 158,410	私費設置屋根等修理、 歓送迎会PTA代表者経費 他	
合 計	1,119,330	878,643	▲ 240,687		

収入総額 1,303,879 円  
 支出総額 878,643 円  
 差引残額 425,236 円(次年度へ繰越)

令和7年度 大島北高校進路指導費決算書

区分	科目	予算額(A)	収入済額(B)	増減(B-A)	備考
収入	繰越金	289,677	289,677	0	
	会費	444,000	440,250	▲ 3,750	月250円×1761件
	雑収入	150,000	153,200	3,200	朝課外生徒徴収分等
		883,677	883,127	▲ 550	

区分	項目	予算額(A)	支出済額(B)	差額(B-A)	備考
支出	旅費	100,000	0	▲ 100,000	
	消耗品費	150,000	133,463	▲ 16,537	学習の記録、蛍雪時代等
	通信費	50,000	10,270	▲ 39,730	就職・進学活動通信費(送料)
	雑費	150,000	80,576	▲ 69,424	卒業アルバム コピー使用料等
	予備費	433,677	228,640	▲ 205,037	朝課外手当, 模試監督代
	合計	883,677	452,949	▲ 430,728	

収入総額 883,127 円  
 支出総額 452,949 円  
 次年度へ繰越額 430,178 円

令和7年度 大島北高校派遣費 決算書

(単位:円)

区分	科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
収入	繰越金	955,579	955,579	0	
	会費	1,864,800	1,849,050	▲ 15,750	月1,050円×1761件
	文化祭収益金	0	0	0	
	助成金	500,000	676,000	176,000	県・地区部活動大会助成金 他
	雑収入	500	31,173	30,673	同窓会寄附、預金利息
			3,320,879	3,511,802	190,923

区分	項目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
支出	県大会	2,000,000	1,976,540	▲ 23,460	バレーボール部, バドミントン部 陸上部, カヌー部, バスケットボール部等
	地区大会	200,000	68,180	▲ 131,820	地区バスケットボール大会
	その他	820,879	472,780	▲ 348,099	英語スピーチコンテスト 探究コンテスト 全国カヌー大会 他
	予備費	300,000	0	▲ 300,000	
	合計	3,320,879	2,517,500	▲ 803,379	

収入総額 3,511,802 円  
 支出総額 2,517,500 円  
 次年度へ繰越額 994,302 円

## 令和7年度 大島北高生徒会費 決算書

収入総額 750,600 円  
 支出総額 714,336 円  
 差引残額 36,264 円(次年度へ繰越)

区分	経費区分	科目	当初予算	補正	流用	予算現額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	備考欄
収入		繰越金	44,820	0	0	44,820	44,820	0	
		会費	710,400	0	0	710,400	704,400	▲ 6,000	
		北高祭収益金	0	0	0	0	0	0	
		雑収入	0	0	0	0	1,380	1,380	
収入合計			755,220	0	0	755,220	750,600	▲ 4,620	

区分	経費区分	科目	当初予算	補正	流用	当初予算(A)	決算額(B)	比較増減(A-B)	備考欄
支出	執行部	行事費	200,000			200,000	188,353	11,647	
		運営費	20,000			20,000	4,074	15,926	
		機関誌費	41,000			41,000	40,150	850	
		執行部関係合計	261,000			261,000	232,577	28,423	
	活動関係部	バレー部	128,000			128,000	126,545	1,455	
		ワープロ・デジタルアート部	17,000			17,000	16,327	673	
		陸上部	33,000			33,000	33,000	0	
		吹奏楽部	52,000			52,000	52,000	0	
		北大島太鼓部	27,000			27,000	27,000	0	
		ハンドメイド部	10,000			10,000	9,997	3	
		カヌー部	65,000			65,000	64,960	40	
		バスケットボール部	38,000			38,000	37,930	70	
		バドミントン部	114,000			114,000	114,000	0	
	部活動関係合計		484,000	0	0	484,000	481,759	2,241	
	大会参加費		0	0	0	0	0	0	
	予備費		10,000	0	0	10,000	0	10,000	
	支出総計		522,423	0	0	755,000	714,336	40,664	

上記の通り報告致します。

令和 8 年 3 月 24 日

大島北高等学校生徒会 会計

義田 蒼空



令和 8 年 3 月 24 日

大島北高等学校生徒会 会計

川口 貴津実



令和 8 年 3 月 24 日

大島北高等学校生徒会 会計顧問

井之上 遼



(監査報告)

上記の決算について証拠書類等を精査した結果、相違がないことを確認しました。

令和 8 年 3 月 31 日

大島北高等学校 事務長

西 広 一 郎



令和7年度 大島北高校空調会計決算書

区分	科目	予算額(A)	収入済額(B)	増減(B-A)	備考
収入	繰越金	2,827,432	2,827,432	0	
	会費	1,805,400	1,687,200	▲ 118,200	800円×2109件
	雑収入	1,000	3,744	2,744	預金利息
		4,633,832	4,518,376	▲ 115,456	
区分	項目	予算額(A)	支出済額(B)	差額(B-A)	備考
支出	空調設置経費	400,000	383,432	▲ 16,568	電気料金 ※
	予備費	400,000	330,770	▲ 69,230	空調設備清掃一式
	空調設備更新費用	3,833,832	0	▲ 3,833,832	
	合計	4,633,832	714,202	▲ 3,919,630	


収入総額 4,518,376 円  
 支出総額 714,202 円  
 差引残額 3,804,174 円

※ 全体空調電気代590,252円－県費空調電気代206,820円＝383,432円

# 会 計 監 査 報 告

- 1 監査実施日 令和8年4月14日
- 2 会計年度 令和7年度
- 3 会計種別 P T A 会計  
進路指導費会計  
派遣費会計  
生徒会費会計  
空調会計
- 4 監査結果 預金通帳，諸帳簿及び諸帳票の記録並びに証拠書類等を  
監査した結果，適正に処理されていたことを認めます。

令和 8 年 4 月 14 日

会計監査員 村山健一郎 

# 令和8年度PTA役員名簿(案)

## 会 長

氏 名	組
村山 健一郎	3 A

## 各部長

企画 研修	山田 信也	3 C
副	福元 竜則	3 C
生活 保健	音野 誠吾	3 A
副	碓山 健一郎	3 C

校長	有川 美智代
----	--------

## 地 区 評 議 員

名瀬	中田 智和	2 C
----	-------	-----

龍郷	四位 友樹	3 C
----	-------	-----

笠利	大山 雅輝	3 A
----	-------	-----

## 副会長

氏 名	組	氏 名	組
前田 健	3 C	川上 万一	2 A
脇田 孝之	2 A	本田 孝	1 C
渡邊 隆	教頭		

## 書 記

氏 名		氏 名	
高山 裕司	書記	政 博之	書記
丸山 亮子	書記	楠本 美徳	書記
上野 まどか	書記	水谷 浩次	書記

## 会 計 監 査

氏 名	組	氏 名	
植田 栄太郎	3 A	西 広一郎	事務長

## 母 親 代 表

氏 名	組
中棚 ゆかり	3 C

## 学 級 評 議 員

組	氏 名	組	氏 名	組	氏 名
1 A	平山 剛太	2 A	平島 郁子	3 A	小元 みのり
	担 任		担 任		担 任
1 C	肥後 潤作	2 C	吉川 飛鳥	3 C	五十嵐 大樹
	担 任		担 任		担 任

# PTA会則

## 第1章 総 則

第1条 本会は、鹿児島県立大島北高等学校PTAと称し、事務所を同校内に置く。

第2条 本会は、学校と家庭とが教育の責任を分担し、生徒の健全な成長を図ることを目的とする。

## 第2章 会 員

第3条 本会の会員は、生徒の保護者又はこれに代わる者及び本校教職員とする。

## 第3章 組織編成

第4条 本会を運営し、活動を促進するため次の組織を編成する。

総会・評議員会・運営委員会・専門部会

## 第4章 役 員

第5条

1 本会に次の役員を置く。会長1名、副会長4名程度、会計監査委員1名、書記2名、会計1名、学級評議委員各学級1名、地区評議委員3名程度(名瀬・龍郷・笠利地区より各1名程度)、各専門部長・副部長各1名とする。

2 役員は、会員の中から次の方法で選出する。

(1) 会長、副会長及び会計監査委員は、評議員会の推薦により、保護者の中から総会において選出する。また、会長に関しては原則として2年生の保護者から選出し、名瀬・龍郷・笠利の三地区で1年交替の輪番制とする。なお、副会長のうち1名は教頭とする

(2) 書記及び会計は、教職員の中から会長が委嘱する。

(3) 専門委員長・副委員長に関しては原則として名瀬・龍郷・笠利の三地区で1年交替の輪番制とし保護者の互選により選出する。

(4) 学級評議委員は、学級担任のほか、保護者の中から各学級1名を選出する。

(5) 地区評議委員は名瀬・龍郷・笠利地区の保護者の中から各1名程度選出する。

3 役員は、会則に定めるものを除き、他の役員を兼ねることができない。ただし、評議員は会計監査委員、書記、会計又は専門部長・副部長を兼任することができる。

4 役員の中、若しくは他の保護者会員から奄美群島PTA連絡協議会理事の母親委員会の役員を選出する。

第6条 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

第7条 会長、副会長、会計監査委員に欠員を生じたときは、評議員が補充する。その他役員補充は、会長が必要と認めた場合に第5条の規定により選出する。

第8条 役員の職務は次のとおりとする。

(1) 会長は本会を代表し、会務の統括、総会・評議員会及び運営委員会の招集を行う。会長は全ての集会に出席して意見を述べることができる。

(2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(3) 評議員は、評議員会を構成し、付議事項を審議する。

(4) 会計監査委員は、会計監査を行い総会において報告する。総会及び評議員会の議長は会議の都度、選出する。

(5) 書記は各種会議等の資料作成等を行う。

(6) 学級・地区評議員は評議員会を構成し、付議事項を審議する。

## 第5章 総 会

第9条 総会は、毎年5月に開催し、必要に応じて臨時総会を開催できるものとする。

2 会長不在の場合は副会長があたる。

第10条 総会は、次の事項を審議し決定する。

(1) 会長・副会長・会計監査委員の決定

(2) 会則の改廃等の決定

(3) 事業報告及び決算の承認決定

(4) 事業計画及び予算の承認

(5) 会務の報告、その他報告事項の承認

(6) 会費の決定

第11条 総会は、出席者の過半数で決し、可否同数の場合のときは、議長が決定する。やむを得ない理由により総会に出席できない会員は委任状をもって総会に出席したものとみなすこととする。

## 第6章 評議員会

第12条 評議員会は、学級評議委員・地区評議員及び会長・副会長をもって構成し、次の事項を審議する。

(1) 総会に提出する議案 (2) 総会で決定され、又は委託された事項の処理

2 評議委員会の議長は会議の都度、選出する。

## 第7章 運営委員会

第13条 運営委員会は、会長・副会長・書記・会計・専門部部长及び校長をもって構成し、会長が必要と認めるとき開催する。

2 校長は、学校管理及び教育上全ての会議に出席して意見を述べることができる。

## 第8章 専門部会

第14条 専門部会は、部長・副部長で構成し、本会の活動に必要な事項について調査、研究及び企画立案する。

2 専門部の種類は、次のとおりとする。

(1) 企画研修部会 (2) 生活保健部会

## 第9章 会計

第15条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2 会員は、会費を生徒の諸会費と同時に納入するものとする。

3 本会の会計年度は、毎年4月1日から、翌年3月31日までとする。

## 第10章 慶弔・表彰

第16条 次の慶弔及び表彰について次のとおり定める。

2 慶弔

区 分	金 額	備 考
保護者 死亡	10,000	弔電・供花
生 徒 死亡	10,000	弔電・供花
職 員 死亡	10,000	弔電・供花

3 表彰

(1) 副会長以上の役職を2年以上務めた者。

(2) (1)に該当しない会員並びに会員以外の者で、本会の運営活動に協力し特にその功績が顕著な者。

## 附 則

この会則は、昭和48年5月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

この会則は、平成 2年5月29日に一部改正する。

この会則は、平成 9年5月 9日に一部改正する。

この会則は、平成11年5月10日に一部改正する。

この会則は、平成12年5月 7日に一部改正する。

この会則は、平成14年5月 7日に一部改正する。

この会則は、平成17年5月10日に一部改正する。

この会則は、平成18年5月 9日に一部改正する。

この会則は、平成22年5月13日に一部改正する。

この会則は、令和 1年5月21日に一部改正する。

この会則は、令和 3年5月28日に一部改正する。

この会則は、令和 6年5月28日に一部改正する。

## 令和8年度 P T A事業計画(案)

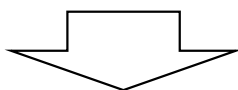
	日 付	P T A 関 係 事 業 ・ 行 事
一 学 期	4月3日(金)	第1回運営委員会
	8日(水)	第58回入学式
	14日(火)	会計監査
	22日(水)	P T A評議員会
	5月15日(金)	P T A総会・地区P T A・学級及び学年P T A
	16日(土)	奄美群島P T A連絡協議会総会・研修会(於 和泊町)
	18日(月)	奄美市P T A連絡協議会第1回理事会(奄美市役所5階)
	6月 日(土)	奄美市P T A連絡協議会総会・研修会・懇親会
	日( )	奄美大島5高P T A研修会
	8月22日(土)	体育祭前P T A親子奉仕作業
二 学 期	9月12日(土)	第58回体育祭
	10月8日(木)	2学年P T A
	24日(土)	第58回北高祭
	11月6日(金)	第44回笠利一周遠行
	12月 日( )	奄美市まなびフェスタ及び第1回市P T A連絡協議会研修会
三 学 期	1月 日( )	第2回奄美市P T A連絡協議会理事会・研修会
	3月1日(月)	第58回卒業式 P T A新聞(「てーち木」)発行
	備 考	北高ポロシャツ販売〔5月15日(金)~5月22日(金)〕

## 令和8年度 諸会費及び学級費について

### 【 令和7年度諸会費 】

- 1 年 額 34,200円
- 2 納入方法 ゆうちょ銀行個人口座から引落
- 3 納入回数 年3回(1学年 5/26, 6/25, 9/25)  
(2・3学年 4/25, 6/25, 9/25)
- 4 納入金額及び内訳等

口座引落日 (1学年)	口座引落日 (2・3学年)	引落金額	令和7年度 諸会費内訳(単位:円)				
			PTA会費	生徒会費	進路指導費	派遣費	空調費
			月額 350	月額 400	月額 250	月額1,050	月額 800
令和7年5月26日	令和7年4月25日	11,400	1,400	1,600	1,000	4,200	3,200
令和7年6月25日	令和7年6月25日	11,400	1,400	1,600	1,000	4,200	3,200
令和7年9月25日	令和7年9月25日	11,400	1,400	1,600	1,000	4,200	3,200
合 計		34,200	4,200	4,800	3,000	12,600	9,600



### 【 令和8年度諸会費 】

- 1 年 額 30,600円
- 2 納入方法 ゆうちょ銀行個人口座から引落
- 3 納入回数 年2回(1・2・3学年 5/25, 6/25)
- 4 納入金額及び内訳等(空調費月額800円⇒500円へ)

口座引落日 (1・2・3学年)	引落金額	令和8年度 諸会費内訳(単位:円)					
		PTA会費	生徒会費	進路指導費	派遣費	空調費	
		月額 350	月額 400	月額 250	月額1,050	月額 500	
令和8年5月25日	15,300	2,100	2,400	1,500	6,300	3,000	
令和8年5月25日	15,300	2,100	2,400	1,500	6,300	3,000	
合 計		30,600	4,200	4,800	3,000	12,600	6,000

### 【 令和8年度学級費 】

- 1 年 額 各学級ごとに設定
- 2 納入方法 1学年は入学時現金徴収, 2・3学年はゆうちょ銀行個人口座引落
- 3 納入回数 年1回
- 4 納入金額及び引落日等

1年A組	1年C組
55,000	60,000

・ゆうちょ銀行個人口座引落(令和8年4月27日)

2年A組	2年C組	3年A組	3年C組
50,000	50,000	40,000	45,000

※ 自動払込利用申出書の提出が間に合わない, 残高不足等の理由により引き落としがされなかった場合は, 学校の指定口座に各ご家庭から振り込みをしていただくことになります。

(手数料については, ご家庭での負担となります。)

なお, 引き落とされなかった分を現金で支払う場合には, 事務室までご連絡ください。

※ 引落日前には必ず資金準備を, 引落日は残高確認をお願いします。

## 令和8年度 大島北高校PTA会計予算書(案)

### 収入の部

(単位:円)

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (C)=(A)-(B)	備 考
繰 越 金	425,236	430,280	▲ 5,044	
会 費	680,400	688,800	▲ 8,400	生徒 @350×133P×12月(除く9P) 職員 @350×29人×12月
雑 収 入	450	250	200	預金利子等
合 計	1,106,086	1,119,330	▲ 13,244	

### 2 支出の部

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (C)=(A)-(B)	備 考	
運 営 費	会 議 費	10,000	10,000	0	会議用お茶等
	旅 費	100,000	100,000	0	大島地区高等学校PTA研修会, 奄美市PTA連絡協議会等旅費
	需 用 費	120,000	140,000	▲ 20,000	PTA新聞印刷代, 奉仕作業経費, PTA新聞購読料等
	通 信 費	10,000	10,000	0	送付切手代等
	負 担 金	120,000	90,000	30,000	市PTA連絡協議会会費, PTA教育安全振興会共済加入金等
	慶 弔 費	30,000	30,000	0	香典, 弔電, 生花
	小 計	390,000	388,000	10,000	
校 務 補 助 費	行 事 費	120,000	90,000	30,000	入学式・卒業式, 体育祭, 文化祭経費
	生活指導費	10,000	20,000	▲ 10,000	生徒証明カード関係等
	需 用 費	40,000	40,000	0	正月用門松・しめ縄等
	負 担 金	230,000	220,000	10,000	各種研究会等負担金等
	雑 費	30,000	30,000	0	学校関係者評議員会旅費等
	小 計	430,000	400,000	30,000	
予 備 費	286,086	339,330	▲ 53,244		
合 計	1,106,086	1,119,330	▲ 13,244		

## 令和8年度 諸会費収入予算書(案)

区 分	収 入 額					前年度 収入額	増 減 額	収入基礎
	繰越金	会 費	雑収入	助成金	計			主な支出
進路指導費 (月額 250円)	430,178	426,000	150,000	0	1,006,178	883,127	123,051	@250円×12月×142人 コピー機等使用料 書籍代 朝課外費補助 郵送料
派遣費 (月額 1,050円)	994,302	1,789,200	1,100	600,000	3,384,602	3,511,802	▲ 127,200	@1,050円×12月×142人 @県離島生徒参加費助成金 部活動大会出場費 県大会 地区大会 上位大会
生徒会費 (月額 400円)	36,264	681,600	100	0	717,964	750,600	▲ 32,636	@400円×12月×142人 生徒会会計へ 各部活 消耗品代等
空調費 (月額 500円)	3,804,174	1,026,000	3,700	0	4,833,874	4,518,376	315,498	@500円×12月×142人(生徒) @500円×12月×29人(職員) 電気代 修理等
合 計 (月額 2,200円)	5,264,918	3,922,800	154,900	600,000	9,942,618	9,663,905	278,713	

※ 県離島生徒大会参加費助成金の支給方法について

・支給金額

県が指定する大会に参加する場合旅客航路の4割相当額を県が補助  
(8年度→5,030円)

・支給回数→年2回まで(運動部, 文化部とも)

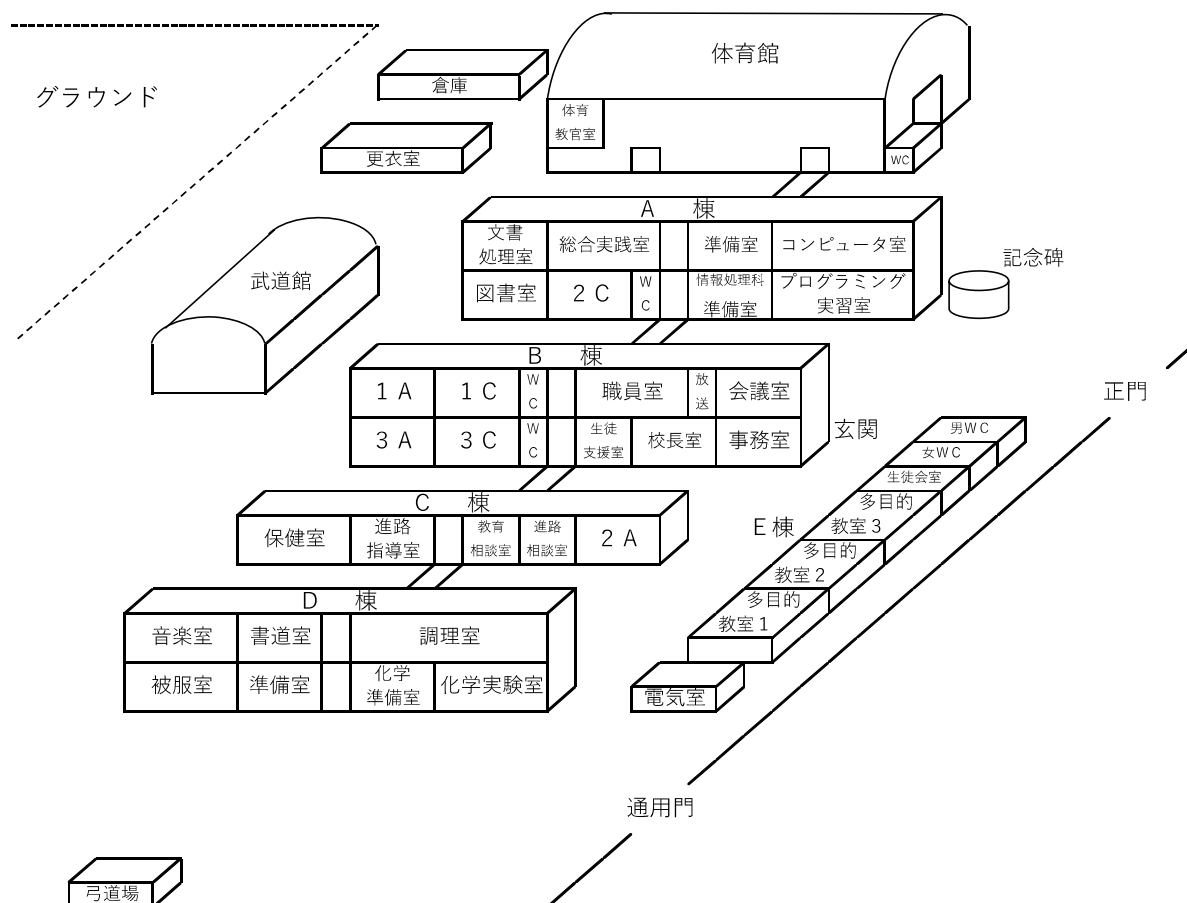
ただし九州大会以上の大会や連盟が開催する大会は対象外

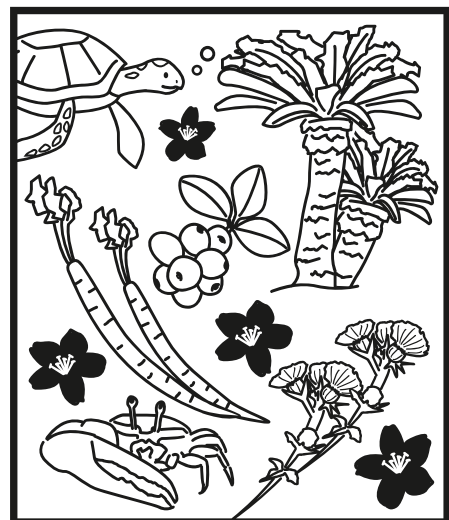
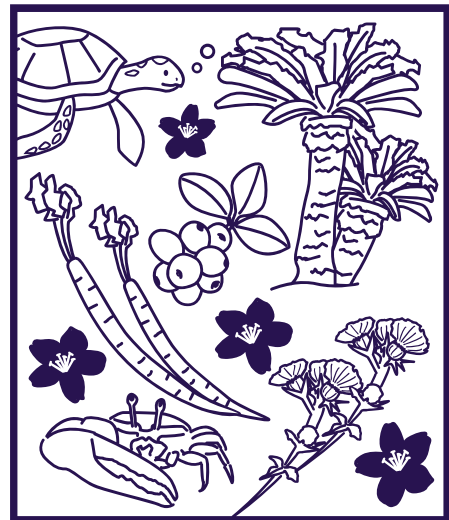
・本校での支給方法→事前に派遣費で船賃を負担する事から、県から支給後派遣費に繰り入れます。  
事前に部顧問を通じて関係書類を配布します。

### 諸会費費目別納入金額の推移 (金額は年額)

費 目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備 考
P T A 会 費	1,800	4,200	3,600	4,200	R7年度増額(月額 300円→350円)
生 徒 会 費	4,200	4,200	4,200	4,800	R7年度増額(月額 350円→400円)
進 路 指 導 費	0	3,000	2,400	3,000	R7年度増額(月額 200円→250円)
派 遣 費	12,000	12,600	14,400	12,600	R7年度減額(月額 1,200円→1,050円)
空 調 費	10,200	10,200	9,600	9,600	
納 入 額 合 計	28,200	34,200	34,200	34,200	

鹿児島県立大島北高等学校 校舎配置図





# 北高 PTA ポロシャツ色見本・サイズ

## NEW COLORS



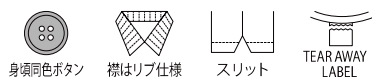
## 00302-ADP

4.4オンス ドライポロシャツ

### NEW COLORS

真面目な見た目と快適な着后感がひとつに

**39** COLORS    **12** SIZE    **4.4oz** やや薄手    吸汗 速乾    **UPF 20** 紫外線保護指数



- 150g/m<sup>2</sup> メッシュ(4.4oz)
- ポリエステル100%
- 生産国 :ベトナム

サイズ	120	130	140	150	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
コード	21	22	23	24	51	01	02	03	04	06	09	47
身 丈	48	52	56	59	62	65	68	71	74	77	80	82
身 巾	36	38	40	42	44	47	50	53	56	60	64	68
肩 巾	34	36	38	40	42	44	46	48	50	53	56	59
袖 丈	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26	27

該当サイズのみ在庫限りカラーあり